

嘉麻市教育委員会事業評価結果
(平成19年度事業分)



平成20年9月

嘉麻市教育委員会

目 次

| | | |
|---|---|----|
| 1 | 点検・評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| | 概要 | |
| | 目的 | |
| | 点検・評価する事務の対象 | |
| | 点検・評価の方法 | |
| | 結果の取扱い | |
| 2 | 全体評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 2 |
| 3 | 事業別評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 2 |
| | 「個別事業資料」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 13 |
| | 重要課題1 人間性と創造性をはぐくむ学校教育の充実・・・・・・・・ | 13 |
| | 重要課題2 ゆとりのなかでいきいきと学べる教育環境の整備・・・・・・・・ | 16 |
| | 重要課題3 使命感にあふれ、実践的指導力をもつ教職員の養成と確保・・・・・・・・ | 20 |
| | 重要課題4 明るい豊かな市民生活を支える健康・体力づくりの推進・・・・・・・・ | 22 |
| | 重要課題5 豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現・・・・・・・・ | 26 |
| | 重要課題6 豊かな人間性や志を持ったたくましい青少年の育成・・・・・・・・ | 32 |
| | 重要課題7 人権尊重精神を育成する教育の推進・・・・・・・・ | 36 |
| | 重要課題8 心豊かな人をはぐくむ芸術・文化の創造と歴史的・文化遺産の保護と活用・・・・・・・・ | 38 |

1 点検・評価について

概要

嘉麻市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正を受け、本年度から教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、この結果について公表するものです。

目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体的教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、点検・評価し、その結果を公表することで地域住民への説明責任を果たし、その活動を充実させることが目的です。

点検・評価する事務の対象

平成19年度嘉麻市教育行政の基本目標と重要課題に位置づけられる事業を対象とします。

点検・評価の方法

の事業ごとに、必要性、効率性、公平性の観点から自己総合評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者評価を行いました。

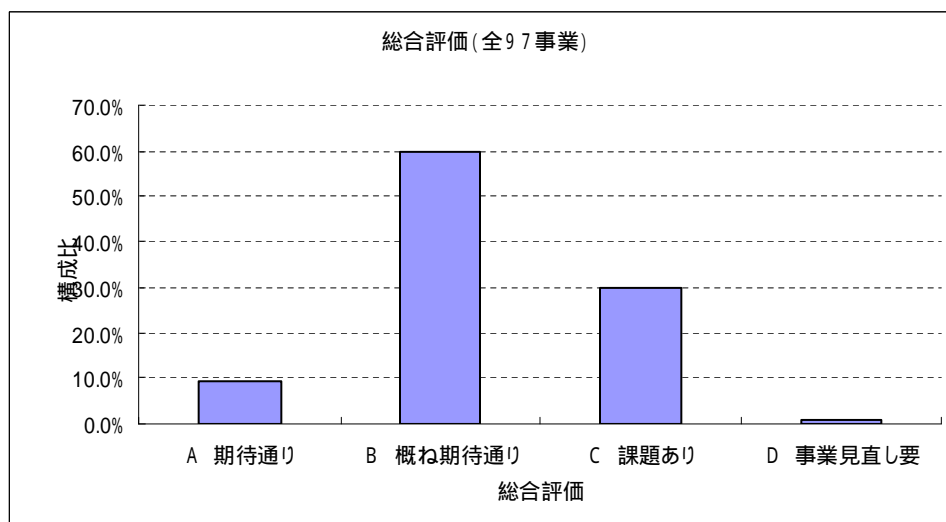
第三者評価については、教育委員や現職教員・事務局職員等ではない者で、教育に関して公正な意見を述べることを期待できる人を想定し、PTA連合会、社会教育委員、公民館運営審議会、図書館協議会、織田廣喜美術館運営協議会及び文化財保護審議会の委員に依頼し評価いただきました。

結果の取扱い

この点検・評価においては、事業ごとに4段階（A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業見直し要）で評価しており、評価の高い事業については引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に事業の見直しについて検討していく予定です。

2 全体評価結果

総合評価については、「A 期待通り」9事業 9.3%、「B 概ね期待通り」58事業 59.8%、「C 課題あり」29事業 29.9%、「D 事業見直し要」1事業 1.0%、という結果でした。
 なお、個別の事業内容については、巻末資料「個別事業資料」に掲載しています（13ページ以降）。



3 事業別評価結果

重要課題1 人間性と創造性をはぐくむ学校教育の充実

学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の創意を生かした教育課程を編成し、地域の特性を生かした特色ある教育活動の展開を促す。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|-----------|---|---|---|---|
| 教育課程実施状況評価事業 | (H19-1) | | | | |
| 地域教育資源活用事業 | (H19-2) | | | | |

(意見・課題) 特になし

基礎・基本を身に付け、自ら学び考えるなどの確かな学力をはぐくむとともに、一人一人の個性や能力を伸ばし、学習意欲を高める教育の充実に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------|-----------|---|---|---|---|
| 学力向上推進事業 | (H19-3) | | | | |
| 補助教員配置事業 | (H19-4) | | | | |

(意見・課題) 特になし

学校の創意工夫を生かした教育活動の展開を推進する。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------|-----------|---|---|---|---|
| 体験活動推進事業 | (H19-5) | | | | |
| 発展学習プログラム事業 | (H19-6) | | | | |
| 情報教育推進事業 | (H19-7) | | | | |

(注) 総合評価区分・・・A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業見直し要

(意見・課題)

発展的な学習カリキュラムの早期実施
情報教育推進における整備と情報教育の充実

体験活動等を生かした道徳教育・ボランティア教育の推進に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|-----------|---|---|---|---|
| 道徳教育推進事業 | (H19-8) | | | | |
| ボランティア活動推進事業 | (H19-9) | | | | |

(意見・課題)

道徳教育及びボランティア教育の充実と学校格差是正

市内の教職員研修を体系化し、学校間の連携を緊密にし、教職員の資質向上を図り、教育水準の維持向上に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|---------|------------|---|---|---|---|
| 教職員研修事業 | (H19-10) | | | | |

(意見・課題)

教職員の研修参加促進

重要課題2 ゆとりのなかでいきいきと学べる教育環境の整備

教育近代化のための設備の充実とともに、教育の多様化に対応できる教育条件の整備に努め、学校教育環境の質的改善を行うため、小規模小学校の統合を推進し、学校施設・整備・教具教材等の一層の改善充実を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------------------|------------|---|---|---|---|
| 学校施設整備基本構想策定事業 | (H19-11) | | | | |
| 嘉穂地区小学校統合施設整備審議会運営事業 | (H19-12) | | | | |
| 就学援助事業 | (H19-13) | | | | |

(意見・課題) 特になし

すべての子どもの人格の発達をめざし、生徒指導の徹底を図るとともに、関係機関・団体との緊密な連携により、いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-----------------|------------|---|---|---|---|
| いじめ総合対策推進事業 | (H19-14) | | | | |
| ひきこもり児童生徒サポート事業 | (H19-15) | | | | |

(意見・課題)

不登校問題の改善
適応指導教室等の充実

新教育基本法の理念に対応した新しい教育課程の円滑な実施を図るため、趣旨の徹底・理解の促進、「総合的な学習の時間」をはじめ、実践的な取り組みの推進に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------|------------|---|---|---|---|
| 総合的な学習 支援事業 | (H19-16) | | | | |
| 特別支援教育推進事業 | (H19-17) | | | | |

(意見・課題) 特になし

郷土を愛する豊かな心を育てるために、郷土を知り、住民とのふれあいに努め、地域の教育力を活用するとともに学校教育との相互連携を図るために、校務分掌組織に学校・社会教育の連携係を位置づける。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------------------------------|------------|---|---|---|---|
| 学・社連携融合の取組の充実 (意見・課題) 学校格差の解消 | (H19-18) | | | | |

児童生徒の学習や読書意欲を高めるため、市立図書館等との連携を図りながら、学校図書館の整備や機能の充実に努めるとともに、組織的、継続的な読書活動の推進に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|---|------------|---|---|---|---|
| 読書活動推進事業 (意見・課題) 学校格差の解消 担当図書と司書の連携の拡充 | (H19-19) | | | | |

児童生徒の安全管理のため、学校安全に関する取り組みの充実を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-----------------|------------|---|---|---|---|
| 小学校維持管理業務 | (H19-20) | | | | |
| 中学校維持管理業務 | (H19-21) | | | | |
| スクールガードリーダー活用事業 | (H19-22) | | | | |
| 安全点検推進事業 | (H19-23) | | | | |

(意見・課題)
計画的な施設整備
学校の安全体制整備充実と専門的指導員の配置

嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校への進学者の収容対策と、その適切な受入を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-----------------------------|------------|---|---|---|---|
| 定時制高校維持管理業務 (意見・課題) 特になし | (H19-24) | | | | |

重要課題3 使命感にあふれ、実践的指導力をもつ教職員の養成と確保

校内研修を積極的に推進し、実践的指導力を持つ教職員の養成に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-----------------------------------|------------|---|---|---|---|
| 校内研修実施事業 (意見・課題) 適切な研修内容の実施 | (H19-25) | | | | |

初任者研修制度の深化を図り、初任者及び若年教師の実践的指導力の育成に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------------------------------|------------|---|---|---|---|
| 授業技術研修実施事業 (意見・課題) 教職員の研修参加促進 | (H19-26) | | | | |

教職員及び教育研究団体等の教育研究を奨励するとともに、県、市及び各種の教育研究指定・委嘱校をはじめ、各校の研究助成を積極的に行い、校内研究の活性化を図り、教職員の資質の向上に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------------------|------------|---|---|---|---|
| 市研究指定事業 (意見・課題) 特になし | (H19-27) | | | | |

教職員の交流を図り、人事の適正化を進める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-----------|------------|---|---|---|---|
| 教職員人事配置事業 | (H19-28) | | | | |

(意見・課題)
適正な人事配置の実施

サービスの適正化や教育研究機関等の研究への参加を積極的に奨め、使命感あふれる教職員の養成に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------|------------|---|---|---|---|
| 専門研修参加奨励事業 | (H19-29) | | | | |

(意見・課題)
教職員の研修参加促進

市教育研究所が行なう、教職員研修の一層の体系化・効率化を促進するとともに、研修内容の充実を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-----------------|------------|---|---|---|---|
| 嘉麻市教育研究所 研修推進事業 | (H19-30) | | | | |

(意見・課題)
教職員の研修参加促進
小中学校の教職員が連携した研修会の検討

重要課題4 明るい豊かな市民生活を支える健康・体力づくりの推進

児童・生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------|------------|---|---|---|---|
| 児童生徒健康診断事業 | (H19-31) | | | | |
| 教職員健康診断事業 | (H19-32) | | | | |

(意見・課題)
健康診断日に受診できなかった児童生徒への対応検討
健康診断の充実

家庭、地域、その他関係機関・団体等との連携を密にし、児童・生徒の保健・安全に対する諸施策の充実を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------|------------|---|---|---|---|
| 医療機関との連携事業 | (H19-33) | | | | |
| 安全管理推進事業 | (H19-34) | | | | |

(意見・課題)
学校保健・安全に関する計画に基づく事業状況の評価点検の実施

学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、給食内容の充実、給食指導の工夫改善や米飯給食を積極的に推進し、魅力ある学校給食の充実に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|---------------|------------|---|---|---|---|
| 学校給食施設等衛生管理事業 | (H19-35) | | | | |
| 食育及び収納対策事業 | (H19-36) | | | | |
| 学校給食業務運営事業 | (H19-37) | | | | |

(意見・課題)
施設整備等の学校格差、調理業務の効率化

スポーツ指導者の養成・確保・活用を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------|------------|---|---|---|---|
| 体育指導委員事業 | (H19-38) | | | | |

(意見・課題)

体育指導員の定数の見直し検討

地域における的確なスポーツ情報の提供に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------|------------|---|---|---|---|
| スポーツ情報提供事業 | (H19-39) | | | | |

(意見・課題)
情報提供方法の検討

住民のニーズに即応した地域スポーツの推進に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------|------------|---|---|---|---|
| スポーツ振興事業 | (H19-40) | | | | |

(意見・課題)
新規参加者開拓のため事業内容の検討

学校と地域の連携による、子どもを惹きつけるスポーツ環境の充実を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------------|------------|---|---|---|---|
| 子どものスポーツ環境向上事業 | (H19-41) | | | | |

(意見・課題)
参加者増加のため事業内容の検討

子どものｽｰｱｲの充実と体力の向上のための総合的な方策の推進に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|------------|---|---|---|---|
| 子どもの体力向上推進事業 | (H19-42) | | | | |

(意見・課題)
健康福祉の観点から関係課との連携を深めた事業展開の検討

既存施設の有効活用と管理運営の弾力化及びスポーツ振興の拠点づくりの推進に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------|------------|---|---|---|---|
| 体育施設管理運営事業 | (H19-43) | | | | |

(意見・課題)
施設受付及び管理体制の統一化の検討
計画的な施設整備

総合型地域スポーツクラブの設立に向けた指導助言並びに育成支援に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------------|------------|---|---|---|---|
| 総合型地域スポーツクラブ支援事業 | (H19-44) | | | | |

(意見・課題)
総合型スポーツクラブの趣旨の周知と支援

重要課題5 豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現

生涯学習推進体制の整備をはじめ、生涯学習の総合的推進を図るとともに、地域の生涯学習施設を活用して生涯学習活動を推進する。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|------------|---|---|---|---|
| 生涯学習推進事業 | (H19-45) | | | | |
| 公民館・分館維持管理事業 | (H19-46) | | | | |

(意見・課題)
事業の整理統合及び見直し検討

(注) 総合評価区分・・・A 期待通り、B 概ね期待通り、C 課題あり、D 事業見直し要

施設の老朽化
地域コミュニティ再構築の検討

国際化・情報化等社会の変化に対応できる図書館活動に努めるとともに、山間地域では、移動図書館車の巡回により、市民の読書普及活動を推進する。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-----------------|------------|---|---|---|---|
| 子ども読書活動推進計画策定事業 | (H19-47) | | | | |

(意見・課題) 特になし

社会教育関係職員の資質の向上を図るとともに、関係団体等の指導者の養成とともに、ボランティア活動の育成と支援に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------------|------------|---|---|---|---|
| 関係団体、ボランティアの育成支援事業 | (H19-48) | | | | |

(意見・課題)

職員資質向上のため研修会参加促進
職員と指導員の意識統一

学校施設の開放及び効果的活用を促進するとともに、地域の様々な教育資源を活用して学校教育活動を支援するなど、学校教育と社会教育との連携に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------|------------|---|---|---|---|
| 学校教育活動支援事業 | (H19-49) | | | | |

(意見・課題)

ボランティア人材バンク制度の周知

社会教育関係団体の育成とその活動の充実に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|------------|---|---|---|---|
| 社会教育関係団体育成事業 | (H19-50) | | | | |

(意見・課題) 特になし

ボランティア人材バンクの確立と活用を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|---------------|------------|---|---|---|---|
| ボランティア人材バンク事業 | (H19-51) | | | | |

(意見・課題)

ボランティア人材バンク制度の周知

地域におけるボランティアの育成と活動の推進を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|------------|---|---|---|---|
| ボランティア活動推進事業 | (H19-52) | | | | |

(意見・課題) 特になし

関係機関・団体との連携・協力体制の整備並びに、ボランティアのネットワーク化を図り、お互いに学ぶ生涯学習の推進を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------------|------------|---|---|---|---|
| ボランティアネットワーク推進事業 | (H19-53) | | | | |

(意見・課題)

ネットワーク化の更なる推進

地域における芸術文化の創造を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------|------------|---|---|---|---|
| 地域文化向上事業 | (H19-54) | | | | |

(意見・課題)

経費削減と参加者増加により費用対効果向上の検討
 美術展覧会開催会場の検討
 地域団体等の組織化

生涯学習における高齢者の生きがいづくりを図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|---------------|------------|---|---|---|---|
| 高齢者の生きがいづくり事業 | (H19-55) | | | | |

(意見・課題)

ボランティア人材バンクの合同研修会の開催

公民館分館活動の活性化を図るとともに、助成に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|------------|---|---|---|---|
| 嘉麻市分館運営費補助事業 | (H19-56) | | | | |

(意見・課題)

補助金算定基準等の統一化の検討
 公民館活動のさらなる活性化の推進

地域コミュニティ（地域づくり）の拠点づくりを図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------------|------------|---|---|---|---|
| 嘉麻市自治公民館等活動費補助事業 | (H19-57) | | | | |

(意見・課題)

補助金算定基準等の統一化の検討
 公民館活動のさらなる活性化の推進

中央・地区公民館及び分館における、公民館講座の充実を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|---------|------------|---|---|---|---|
| 公民館講座事業 | (H19-58) | | | | |

(意見・課題)

新規受講者の増加と公民館活動のさらなる推進

中央公民館 地区公民館 分館 自治公民館の連携を密にする。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------|------------|---|---|---|---|
| 公民館運営審議会事業 | (H19-59) | | | | |

(意見・課題)

社会教育委員から独立した組織編制

重要課題6 豊かな人間性や志を持ったたくましい青少年の育成

青少年の健全育成のための啓発活動を推進するとともに、いじめ、不登校、薬物乱用問題などの解決に向けた総合的な青少年健全育成を推進する。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|---------------------|------------|---|---|---|---|
| 総合的な青少年の健全育成の啓発活動事業 | (H19-60) | | | | |

(意見・課題)

青少年問題協議会等の組織の高齢化

家庭の教育機能を高めるため、学校や地域との連携に努めるとともに、保護者等の学習・相談の機会や啓発運動を充実し、家庭教育支援の充実に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------|------------|---|---|---|---|
| 家庭教育支援の充实事業 | (H19-61) | | | | |

(意見・課題) 特になし

地域の教育力向上を図るため、指導者の養成・各種団体の育成及び活性化等、地域の環境づくりに努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------------------|------------|---|---|---|---|
| 指導者の養成及び各団体の育成、活性化事業 | (H19-62) | | | | |

(意見・課題)

補助金交付基準の作成
指導者を対象にした研修会開催と指導者の育成

地域のさまざまな教育資源を活用した学校教育活動の支援を行うなど、学校教育と社会教育の連携・融合に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------|------------|---|---|---|---|
| 学校教育活動支援事業 | (H19-63) | | | | |

(意見・課題)

学社連携の推進

青少年のボランティア活動等の社会奉仕体験活動や、自然体験活動を促進するなど、青少年の自主的・主体的体験活動の推進を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|---------------|------------|---|---|---|---|
| 青少年の体験活動の推進事業 | (H19-64) | | | | |

(意見・課題)

実施団体の構成員の充実指導

幼児教育は幼児の発達段階での人格形成に重要な時期であり、家庭や関係機関との連携を図り健全育成に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------------------|------------|---|---|---|---|
| 幼児教育時における家庭や関係機関との連携事業 | (H19-65) | | | | |

(意見・課題) 特になし

子育てに関する情報提供や学習機会の提供等、子育て支援の推進を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------------|------------|---|---|---|---|
| 子育てに関する情報及び学習機会の提供 | (H19-66) | | | | |

(意見・課題)

嘉麻市全地区での実施

青少年の健全育成のための体制整備、関係団体の育成、支援を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|---------------------------|------------|---|---|---|---|
| 青少年の健全育成のための体制整備及び関係団体の育成 | (H19-67) | | | | |

(意見・課題)

嘉麻市青少年問題協議会の内容の見直し

学校と地域住民の架け橋となり、学社連携・融合事業の推進を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------------|------------|---|---|---|---|
| 学社連携・融合事業の推進事業 | (H19-68) | | | | |

(意見・課題)

学社連携会議等の事業の推進
社会教育委員の意見の反映

重要課題7 人権尊重精神を育成する教育の推進

児童生徒の人権尊重の意識を高める教育の充実に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------|------------|---|---|---|---|
| 人権教育推進事業 | (H19-69) | | | | |

(意見・課題) 特になし

社会教育における人権に関する学習の推進に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------|------------|---|---|---|---|
| 人権教育推進市町村事業 | (H19-70) | | | | |

(意見・課題)

旧市町格差の是正

嘉麻市人権教育・啓発基本指針等に基づき、学校や地域社会における人権教育の推進に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------|------------|---|---|---|---|
| 人権教育推進市町村事業 | (H19-71) | | | | |

(意見・課題)

事業内容の充実と広報活動の実施
行政職員研修の強化

人権・同和教育(啓発)の推進を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------------------------|------------|---|---|---|---|
| 人権教育推進市町村事業 *(H19-70)再掲 | (H19-72) | | | | |

(意見・課題)

旧市町格差の是正

解放子ども会の育成を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-----------------|------------|---|---|---|---|
| 児童・生徒の人権意識の育成事業 | (H19-73) | | | | |

(意見・課題)

保護者等の意識の変化による子ども会の縮小傾向への対応
教職員、行政職員の関わりの格差の是正

人権学級の開設に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------|------------|---|---|---|---|
| 人権教育推進市町村事業 | (H19-74) | | | | |

(意見・課題)

全地区での開設と内容の検討

重要課題8 心豊かな人をはぐくむ芸術・文化の創造と歴史的・文化遺産の保護と活用

美術館の常設・企画展の充実及びギャラリーの活用を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------------|------------|---|---|---|---|
| 美術館施設の維持管理事業 | (H19-75) | | | | |
| 嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会事業 | (H19-76) | | | | |
| 特別企画展事業 | (H19-77) | | | | |

(意見・課題)

利用者の増加を図る
美術館運営協議委員研修の実施
筑豊地域の各美術館との共同企画等の検討

美術関係資料の収集保管及び調査研究に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------------|------------|---|---|---|---|
| 織田廣喜に関する資料の収集・活用事業 | (H19-78) | | | | |
| 地域作家の資料収集・保存事業 | (H19-79) | | | | |

(意見・課題)

展示内容、企画展の検討
地元作家の発掘、研究の継続

各種美術講座や学校教育と結びついた教育普及事業等の充実を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------|------------|---|---|---|---|
| 美術教育普及事業 | (H19-80) | | | | |

(意見・課題)

講座内容の見直し検討
学校教育との連携促進
大学等との共同企画の検討と市民参画の推進

図書館利用の促進と行事の充実を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|------------|---|---|---|---|
| 図書施設の運営管理事業 | (H19-81) | | | | |
| 嘉麻市立図書館協議会 | (H19-82) | | | | |
| 図書資料の収集・保存事業 | (H19-83) | | | | |
| 図書資料の貸出事業 | (H19-84) | | | | |
| 読書推進事業 | (H19-85) | | | | |

(意見・課題)

開館時間等に関する住民ニーズの把握
図書館協議会の開催数の増加検討
蔵書数の確保のための予算確保
稲築図書館に関する検討
利用者のために更なる運用面、広報活動等の改善検討

児童及び青少年の課題解決支援サービスの実現に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------|------------|---|---|---|---|
| 学校支援事業 | (H19-86) | | | | |

(意見・課題)

移動図書館の内容の検討

子ども読書活動の推進を図る。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-------------|------------|---|---|---|---|
| 子ども向け読書推進事業 | (H19-87) | | | | |
| 子育て支援事業 | (H19-88) | | | | |

(意見・課題)

広報活動、内容等の検討
次世代ボランティアの育成
保健福祉部等関係機関との連携促進

ボランティアの育成・活動に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|----------------|------------|---|---|---|---|
| 美術館ボランティア養成事業 | (H19-89) | | | | |
| 図書館ボランティアの養成事業 | (H19-90) | | | | |

(意見・課題)
 研修内容の整理
 ボランティア活動内容の整理

指定文化財の維持管理に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|------------|---|---|---|---|
| 指定文化財の維持管理事業 | (H19-91) | | | | |

(意見・課題)
 無形民俗文化財に伴う継承者不足

地域資料等の調査・収集・保存・活用に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|--------------|------------|---|---|---|---|
| 文化財保護審議会事業 | (H19-92) | | | | |
| 文化財事前審査事業 | (H19-93) | | | | |
| 文化財の詳細調査事業 | (H19-94) | | | | |
| 地域資料の収集・活用事業 | (H19-95) | | | | |

(意見・課題)
 審議会への女性委員の登用
 職員配置の検討
 地域活性化の視点による文化財の活用
 学校教育との連携促進
 資料館等の施設に関する検討

教育普及事業を推進し、文化財愛護意識の高揚に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|------------|------------|---|---|---|---|
| 歴史民俗教育普及事業 | (H19-96) | | | | |

(意見・課題)
 歴史ボランティアの育成と活動内容の検討

歴史民俗資料館(室)の維持管理及び活用に努める。

| 事業名 | 番号 | A | B | C | D |
|-----------------|------------|---|---|---|---|
| 歴史民俗資料館等の維持管理事業 | (H19-97) | | | | |

(意見・課題)
 資料館等の施設に関する検討
 住民ニーズの調査検討

《個別事業資料》

《個別事業資料》

重要課題 1 人間性と創造性をはぐくむ学校教育の充実

子どもたちの学びの環境が大きく変化中、新しい時代をたくましく拓く創造性豊かでチャレンジ精神を持つ子どもたちを育成するためには、確かな学力をはぐくみ、子どもたち一人一人の個性や能力を伸ばし、豊かな人間性や志をもってたくましく生きる力を培う学校教育の充実が重要な課題となっている。

このため、教育内容の充実や教育環境の整備を図り、子どもたちに、「自ら学び、自ら考える力」を培うとともに、多様な体験活動等を通じた心の教育を推進する。

また、各学校は学校改革に積極的に取り組み、家庭や地域と連携協力して、子どもたちがいきいきと学ぶことができる魅力ある、信頼される学校づくりを推進する。

学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の創意を生かした教育課程を編成し、地域の特性を生かした特色ある教育活動の展開を促す。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 教育課程実施状況評価事業 (H19-1) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 学校教育の目的や目標を達成するために学校において編成・実施される教育課程について、各学校の実態に応じた教育活動が行われるよう指導助言を行う。 【数値目標】学習指導要領に示された標準授業数を実施する。 |
| 事業実績 | (良い点) 標準授業時数は達成できた。 (課題) 質の向上に向け適切な指導助言をしていく。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 各学校の実態に応じた指導・助言が少しずつではあるができてきている。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 地域教育資源活用事業 (H19-2) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 地域社会の現状を踏まえ、児童生徒の学習に協力することのできる地域の人材や施設を生かし、教育活動を行う。 |
| 事業実績 | (良い点) ほとんどの学校で地域の人材や施設の利用を教育課程に位置付け活用できた。 (課題) 嘉麻市人材バンクのさらなる活用を検討する。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 社会教育との連携を密に特色ある教育活動が展開されている。 |

基礎・基本を身に付け、自ら学び考えるなどの確かな学力をはぐくむとともに、一人一人の個性や能力を伸ばし、学習意欲を高める教育の充実に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 学力向上推進事業 (H19-3) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 学力実態調査を実施し、嘉麻市内の児童生徒の実態を把握・分析し、基礎基本の学力を身に付け、自ら学び考えるなどの確かな学力を育む教育の充実を図る。 【数値目標】 小学校 N R T 全校偏差値 5 0 ・ 中学校 領域別学力検査 県平均 |
| 事業実績 | (良い点) 小学校において目標を達成できた学校が 5 校あった。 (課題) 小学校・中学校それぞれにおいて、学校毎の課題を設け目標達成に向けた指導体制を整える。 |
| 総合評価 | A 期待通り いろいろな意見がある中で統一した児童生徒の実態の把握と分析に努めるための学力調査が完全実施された意義は大きい。 |

| | |
|------|--------------------|
| 事業名 | 補助教員配置事業 (H19-4) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |

| | |
|------|--|
| 事業概要 | 個に応じた指導を充実させるため、少人数指導や特別支援教育のための補助教員を配置し、一人一人の個性や能力を伸ばし、学習意欲を高める教育の充実を図る。 |
| 事業実績 | (良い点) 学校の要望に応える配置ができた。 小学校：少人数授業補助教員 2 名、特別支援教育補助教員 1 名、複式学級解消補助教員 1 名中学校 / 中学校：少人数授業補助教員 2 名 (課題) 少人数学級の導入にあたり、給与や任用形態等を見直す必要がある。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 補助教員の配置校は財政上の問題で困難を伴うが、教育現場のニーズに応じている。 |

学校の創意工夫を生かした教育活動の展開を推進する。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 体験活動推進事業 (H19-5) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 家庭や地域社会との連携を図りながら、ボランティア活動や自然体験活動などの豊かな体験を通して児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図る。 【数値目標】全校実施 |
| 事業実績 | 全ての学校自然体験を含む体験活動が実施できた。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 道徳性の育成については様々な教育活動が望まれるが、学社連携等を通じた体験活動に成果が期待できる。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 発展学習プログラム事業 (H19-6) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 学習指導要領の内容を十分に身につけた児童生徒に対し、児童生徒の興味・関心や課題に応じて学習指導要領に示された内容にとらわれない学習等を行うことにより、さらに知識を深め、技能や思考力・判断力・表現力を高めるために、発展的な学習カリキュラムの開発を行う。 |
| 事業実績 | (良い点) 嘉穂中学校を中心に大隈小学校、牛隈小学校、千手小学校で県の発展学習プログラム開発事業の指定を受け実施した。 (課題) 平成 19 年度を持って終了した。 |
| 総合評価 | C 課題あり 発展的な学習カリキュラムの開発はこれからの課題であり早急に行うべきである。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 情報教育推進事業 (H19-7) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 児童生徒がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的かつ適切に活用できるようにするための学習活動の充実を図る。 【数値目標】全ての学校において実施 |
| 事業実績 | (良い点) 全校でコンピュータ等を活用した授業を行なうことができた。また、情報教育補助員を配置した。 (課題) 国が示している基準のコンピュータ設備が整っていないところがある。情報教育補助員の活用に偏りがある。 |
| 総合評価 | C 課題あり コンピュータを活用した授業は定着しているが、情報教育推進においては設備面で国の基準を満たしていないところがある。また、指導面でも偏りがある。 情報教育は、これからの社会に不可欠な授業であり、充実を図るよう努力すること。 |

体験活動等を生かした道徳教育・ボランティア教育の推進に努める。

| | |
|------|--------------------|
| 事業名 | 道徳教育推進事業 (H19-8) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |

| | |
|------|--|
| 事業概要 | 豊かな心をもち、人間としての生き方の自覚を促し、道徳性の育成をねらいとした道徳教育の充実を図る。 【数値目標】道徳の時間の標準授業時数を全ての学校で実施する。 |
| 事業実績 | (良い点) 全ての学校で道徳教育の全体計画・年間指導計画が作成されている。 (課題) 標準授業時数を確保できてない学校があった。 |
| 総合評価 | C 課題あり 豊かな心の教育を推進していく上でも、道徳教育やボランティア教育は重要であり充実を図ること、また、これらには、学校格差があるように思われる。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | ボランティア活動推進事業 (H19-9) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 家庭や地域社会と連携し、児童生徒が他の人々や社会のために役立つとともに自分が価値ある存在であることを実感することにより生きるための道徳的実践力の育成を図る。 |
| 事業実績 | (課題) 福祉に関するボランティア体験の実施校が7割にとどまっている。全校実施に向け指導を行なう。 |
| 総合評価 | C 課題あり ボランティア教育に積極的に取り組んでいる学校が少ないように思われるため、各学校がもっと強くボランティア教育を推進するように指導するべきである |

市内の教職員研修を体系化し、学校間の連携を緊密にし、教職員の資質向上を図り、教育水準の維持向上に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 教職員研修事業 (H19-10) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 今日の学校教育に対する社会的要請等を考慮し、市内の小・中学校教職員の資質向上を図るため、教育研究所が中心となり研修を実施する。 |
| 事業実績 | (良い点) 県教委および教育研究所において基本研修・専門専修・調査研究等を実施した。 (課題) 個人研究や研究所での授業技術研修への応募が少ない。 |
| 総合評価 | C 課題あり 研究所としての制度設備は整っているが、研修を受ける教職員の参加体制に問題あり。研修を受けて自分自身の向上を図るよう、教育委員会が教員にもっと強く指導するべきである。 |

重要課題2 ゆとりのなかでいきいきと学べる教育環境の整備

教育水準の向上に努め、多様な教育を推進するとともに、一人一人のニーズに応じた指導の充実を図り、創造性にあふれる人材を育成するため、社会の変化や地域の特性を考慮した学校教育の活性化が重要である。

このため、教職員の研修の充実や学校教育の多様化・弾力化などについて取り組みを進めるとともに、特色ある学校施設の整備拡充・高機能化を図り、ゆとりのある教育環境の整備促進に努める。

教育近代化のための設備の充実とともに、教育の多様化に対応できる教育条件の整備に努め、学校教育環境の質的改善を行うため、小規模小学校の統合を推進し、学校施設・整備・教具教材等の一層の改善充実を図る。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 学校施設整備基本構想策定事業 (H19-11) |
| 担当課係 | 教育総務課 教育企画係 |
| 事業概要 | 学校施設の状況等に調査及び現況把握を行い、安心で安全な学校施設整備に関する基本方針を作成する。 ・学校施設整備調査 市内の学校CAD図面化(配置図、平面図)、施設台帳整理、概観検査から経年劣化及び損傷状況から整備基本方針を定める。 ・児童数の推移等をもとに学校適正規模の各種分析考察を行い、学校適正規模の基本方針を定める。(特に嘉穂地区小学校については、意向調査(アンケート)の実施と分析を行う。) 【数値目標】平成19年度策定を目指す。 |
| 事業実績 | (良い点) 予定通り、策定した。 (課題) 本構想により学校施設の老朽化、学校施設の小規模化等の状況把握ができたが、具体的な対策(基本計画)を定め、計画的・効率的な行政運営が必要である。 * H20基本計画作成予定 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 少子高齢化の進捗に合わせた総合的な基礎データとなるとともに、嘉麻市全体の学校施設の基礎データとして活用できる。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 嘉穂地区小学校統合施設整備審議会運営事業 (H19-12) |
| 担当課係 | 教育総務課 教育企画係 |
| 事業概要 | 合併以前からの懸案事項である、嘉穂地区小学校の統合に関し、統合の方法候補地の選定 通学対策等について調査審議を行う「嘉麻市嘉穂地区小学校統合施設整備審議会」の運営に関する事務。 【数値目標】平成19年10月から平成20年3月までの計6回開催予定。 |
| 事業実績 | (良い点) 予定通り、計6回の審議会開催。 (課題) 当初、平成20年3月に 統合の方法 候補地の選定 通学対策等の諮問事項に関する答申をいただく予定であったが、慎重審議等の結果、平成19年度中には答申がまとまらず、平成20年度に繰り越すこととなった。 |
| 総合評価 | A 期待通り 審議会答申は平成20年6月に繰り延べたが、平成19年度全般に様々な意見を発表され、嘉穂地区小学校統合の情報提供、課題の共通理解に有効であり、地域・保護者の合意形成に成果がある。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 就学援助事業 (H19-13) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 経済的理由によって、就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して適切な援助を行なう。 |
| 事業実績 | 認定者数：平成18年度...774名、平成19年度...803名 (課題) 認定基準の見直しが必要。 |

| | |
|------|---|
| 総合評価 | B 概ね期待通り 就学援助についてはできうる限りの教育条件整備に努めている。 |
|------|---|

すべての子どもの人格の発達をめざし、生徒指導の徹底を図るとともに、関係機関・団体との緊密な連携により、いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | いじめ総合対策推進事業 (H19-14) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | いじめ問題の未然防止・早期発見・早期対応に向け、スクールカウンセラーの配置や教育相談室の設置を行い、いじめ問題の解決を図る。 |
| 事業実績 | (良い点) 全ての学校においていじめの早期発見に向けた取り組みができています。 (課題) 嘉麻市においても市費でのスクールカウンセラーの任用を検討する必要があります。 |
| 総合評価 | C 課題あり いじめ、不登校問題の解決に向けて様々な取組を行なっているが、なかなか改善が伴わず、深刻な状況が続いている。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | ひきこもり児童生徒サポート事業 (H19-15) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | ひきこもりがちな児童生徒に対し、訪問指導員を派遣し学校復帰または適応指導教室への通級を支援する |
| 事業実績 | (良い点) 保護者の協力を得ることのできるひきこもりがちな7名の生徒に対応し、うち2名が適応指導教室に通級できるようになった。 (課題) 県の事業としては20年度までの事業であるが、以後学校内で取り組みができるような体制作りをしていく。 |
| 総合評価 | C 課題あり ひきこもりがちな児童生徒への指導については適応指導教室等で対応を図っているが、まだ十分な状況ではない。 |

新教育基本法の理念に対応した新しい教育課程の円滑な実施を図るため、趣旨の徹底・理解の促進、「総合的な学習の時間」をはじめ、実践的な取り組みの推進に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 総合的な学習 支援事業 (H19-16) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 各学校における創意工夫を生かした学習活動の実態を把握し、特色ある教育・特色ある学校づくりを進める。 |
| 事業実績 | (良い点) 各学校の実態に応じ、地域素材の教材化や体験活動を実施している。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 「総合的な学習の時間」等で特色のある教育・学校づくりがある程度は実践できている。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 特別支援教育推進事業 (H19-17) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 個々の児童生徒の実態に応じた指導内容・指導方法を検討し、適切な指導が行なえるよう支援する。 |
| 事業実績 | (良い点) 全ての学校において少人数指導や習熟度別学習など個に応じた指導の充実に努力している。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 少人数指導や習熟度別学習は教員の配置人数によって可能になることが多いが、ある程度の工夫も必要である。 |

郷土を愛する豊かな心を育てるために、郷土を知り、住民とのふれあいに努め、地域の教育力を活用するとともに学校教育との相互連携を図るために、校務分掌組織に学校・社会教育の連携係を

位置づける。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 学・社連携融合の取組の充実 (H19-18) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 地域の教育力を活用し、地域全体で子どもを育てるため、学校に学・社連携の担当者をおき学校教育・社会教育の相互連携を図る。 |
| 事業実績 | (良い点) 全ての学校に校務分掌として学・社連携の担当者を位置づけている。 (課題) 学校教育・社会教育の更なる連携が必要 |
| 総合評価 | C 課題あり 各学校で学社連携担当者を設定しているが、機能面で格差が見られる。 |

児童生徒の学習や読書意欲を高めるため、市立図書館等との連携を図りながら、学校図書館の整備や機能の充実に努めるとともに、組織的、継続的な読書活動の推進に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 読書活動推進事業 (H19-19) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 児童生徒の心を育て、生きる力を育む子どもの読書活動の支援及び研修を行なう。 |
| 事業実績 | (良い点) 読書ボランティアの活用や子どもの読者活動推進研修会(福岡県教育庁筑豊教育事務所主催)への参加奨励を行った。 (課題) 市立図書館との協力や学校図書司書の適正な配置など検討が必要である。 |
| 総合評価 | C 課題あり 読書活動は学校格差が大きく、担当教諭と司書との連携によるところが大きい。まだまだ不十分である。 |

児童生徒の安全管理のため、学校安全に関する取り組みの充実を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 小学校維持管理業務 (H19-20) |
| 担当課係 | 教育総務課 庶務係 |
| 事業概要 | すべての児童が安心して学習に取り組めるよう校舎等の維持管理を行い、快適な教育環境の整備を図る。 【数値目標】耐震診断の全校実施(残り 6校) |
| 事業実績 | (良い点) 概ね、予定どおりの整備完了。 ・校舎外壁補修工事(稲築東小)・フェンス改修工事(稲築東小)・学校(校長室、事務室、パソコン室、図書館)エアコン設置工事(嘉穂地区各小学校)・教室床張替工事(稲築西小)・防水工事(稲築西小、稲築東小)・廊下シート張替工事(大隈小)・蛍光灯増設工事(大隈小)・体育館補修工事(足白小)・天井補修工事(千手小) (課題) 老朽化した施設・設備が多く、補修等が今後も必要である。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 補助事業により、一定の事業量が確保できたが、学校施設が老朽化しており、耐震化についても早急な対応が必要である。20年度に基本計画を策定して、計画的に整備を進める。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 中学校維持管理業務 (H19-21) |
| 担当課係 | 教育総務課 庶務係 |
| 事業概要 | すべての生徒が安心して学習に取り組めるよう校舎等の維持管理を行い、快適な教育環境の整備を図る。 |
| 事業実績 | (良い点) 概ね、予定どおりの整備完了。 ・フェンス改修工事(山田中)・キュービクル取替工事(山田中)・防水工事(山田中)・放送機器設置工事(山田中)・廊下シート取替工事(稲築中)・駐輪場新設工事(稲築中)・フェンス設置工事(稲築中)・給食棟排水改良工事(碓井中) (課題) 老朽化した施設・設備が多く、補修等が今後も必要である。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 補助事業により、一定の事業量が確保できたが、学校施設が老朽化しており、基本計画策定による計画的整備が必要である。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | スクールガードリーダー活用事業 (H19-22) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 警察官 0B などの防犯の専門家が小学校を中心に定期的に巡回し、学校や地域ボランティアに対しても学校安全に関する指導を行い、学校の安全体制の整備充実を図る。 |
| 事業実績 | (良い点) 市内小学校の小学校を巡回し、安全指導を行なった。 (悪い点) 指導員の体調不良により配当時数を消化できなかった。 (課題) 指導員の選任が困難である。 |
| 総合評価 | C 課題あり 防犯のためには各学校の安全体制の整備充実として、専門的に指導できる人的配置が必要と思われる。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 安全点検推進事業 (H19-23) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 各学校において安全マップを作成し、校区における安全管理及び安全指導を行なう。 |
| 事業実績 | (良い点) 全ての学校において安全マップの作成ができた。 (悪い点) 学校によって、作成形式が異なっているため統一が必要 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 各校区通学路安全マップの作成により、児童生徒の安全管理体制が確立してきた。 |

嘉穂総合高等学校嘉麻市立大隈城山校への進学者の収容対策と、その適切な受入を図る。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 定時制高校維持管理業務 (H19-24) |
| 担当課係 | 教育総務課 庶務係 |
| 事業概要 | すべての生徒が安心して学習に取り組めるよう校舎等の維持管理を行い、快適な教育環境の整備を図る。 |
| 事業実績 | (良い点) 予定どおり、整備できた。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 施設整備が必要なトイレ、浄化槽、空調について平成 20 年度で実施する。 |

重要課題3 使命感にあふれ、実践的指導力をもつ教職員の養成と確保

学校教育の成果は、直接児童・生徒の指導に当たる教職員に負うところが大きく、その職責の自覚と実践的指導力を身に付けることが、強く求められる。

このため、いじめ・不登校問題や情報教育等、今日的な教育課題に積極的に対応しながら、市内教職員研修を体系化し、組織的、計画的、継続的に行うとともに、使命感あふれる優れた人材を養成確保し、教職員の教育意欲の高揚と指導力の向上に努める。

校内研修を積極的に推進し、実践的指導力を持つ教職員の養成に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 校内研修実施事業 (H19-25) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 学校で行なわれる研修に対する指導助言を行なう。 |
| 事業実績 | (良い点) 全ての学校においてテーマ研修や一般研修を行っている。 (課題) テーマ研修において指導主事の派遣要請に差がある。 |
| 総合評価 | C 課題あり 校内研修については各学校において実施しているが、今日的な課題解決に向けた研修内容になっているかが問われている。 |

初任者研修制度の深化を図り、初任者及び若年教師の実践的指導力の育成に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 授業技術研修実施事業 (H19-26) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 初任者や若年の教師の実践的な指導力の育成のため「指導技術研修会」を実施する |
| 事業実績 | (良い点) 初任者や若年教師の指導力の向上のため、教育研究所連盟の主催で「指導技術研修会」を3回、嘉麻市教育研究所において2回実施している。 (悪い点) 研修会への参加応募が少ない。 |
| 総合評価 | C 課題あり どんなによい研修会を準備しても、それに参加する教職員がいないと意味を成さないのでは工夫を要すると思われる。 |

教職員及び教育研究団体等の教育研究を奨励するとともに、県、市及び各種の教育研究指定・委嘱校をはじめ、各校の研究助成を積極的に行い、校内研究の活性化を図り、教職員の資質の向上に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 市研究指定事業 (H19-27) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 嘉麻市教育委員会の研究指定委嘱(2ヶ年事業)を毎年小学校2校、中学校1校に対し実施する。 |
| 事業実績 | (良い点) 研究指定校として小学校は熊ヶ畑小学校、下山田小学校、中学校は嘉穂中学校が1年次の研究を行なっている。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 研究指定校を積極的に希望する学校は少ないが、指定を受けるとそれなりの成果をあげている。 |

教職員の交流を図り、人事の適正化を進める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 教職員人事配置事業 (H19-28) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 地域の実態を踏まえ、学校間格差をなくす人事配置を実施する。 |
| 事業実績 | (良い点) 県や筑豊教育事務所の方針に基づき、適正な人事配置ができた。 (悪い点) 中学校においては教科の関係で、10年以上在籍する教諭が多い。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 人事配置には毎回気を使うところである。教職員が不足する学校のないように、適正配置に努めるべきである。 |

サービスの適正化や教育研究機関等の研究への参加を積極的に奨め、使命感あふれる教職員の養成に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 専門研修参加奨励事業 (H19-29) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 福岡県教育センター専門研修及び体育研究所専門研修への応募奨励 |
| 事業実績 | (良い点) 小学校においては応募者数が増加している。 (課題) 碓井地区・稲築地区の小学校および全体の中学校からの応募が少ない。 |
| 総合評価 | C 課題あり なかなか校外研修に積極的に参加しない教職員を参加させるにはどうしたらよいか、課題可決に向けて有効な手立てがとれていないが、参加推進に向けて努力すべきである。 |

市教育研究所が行なう、教職員研修の一層の体系化・効率化を促進するとともに、研修内容の充実を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 嘉麻市教育研究所 研修推進事業 (H19-30) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 全員対象とした教職員研修の実施、個人研究の支援、教育論文の提出等を行い、嘉麻市の教育の向上・教員の質の向上に努める。 |
| 事業実績 | (悪い点) 本年度、全教職員研修は実施していない。 (課題) 新指導要領や教育改革に関する全教職員研修が必要である。個人研究や教育論文など幅広い教員の参加を呼びかける。 |
| 総合評価 | C 課題あり 教育研究に意欲的に取り組む教職員を育てきっていない現状を打開する方策を真剣に検討し、改善策を見直すことが重要である。さらに可能であれば小中の教職員連携なども検討すべきである。 |

重要課題4 明るい豊かな市民生活を支える健康・体力づくりの推進

心身ともに健やかな青少年育成をめざし、児童・生徒の基礎体力の養成向上と、保健・安全・給食の充実を図り、生涯を通して『自分の健康は、自分でつくる。』健康教育を推進する。

また、健康で明るく、豊かな生活を実現するため、すべての市民が豊かなわが街の自然に親しみ、また、諸施設を活用し、日常的に体育、スポーツ活動ができるよう体制づくりに努める。

児童・生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 児童生徒健康診断事業 (H19-31) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 毎学年定期的に下記の項目について健康診断を行なう。 1.身長、体重及び座高 2.栄養状態 3.脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無 4.視力及び聴力 5.眼の疾病及び異常の有無 6.耳鼻咽喉疾患及び皮膚疾患の有無 7.歯及び口腔の疾患及び異常の有無 8.結核の有無 9.心臓の疾患及び異常の有無 10.尿 11.寄生虫卵の有無 12.その他の疾患及び異常の有無 |
| 事業実績 | (良い点)すべての小中学校において学校医等と調整し、6月末までに実施した。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 健康診断は適切に行なわれているが、定められた日に休んだ者について再診断のチャンス进行を設ける必要がある。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 教職員健康診断事業 (H19-32) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 市内小中学校に所属する教職員・事務職員に対し、健康診断を実施する。 |
| 事業実績 | (良い点)市内小中学校に所属する教職員・事務職員に対し、市内4地区で健康診断を実施した。【山田地区】56名 【稲築地区】90名 【碓井地区】39名 【嘉穂地区】89名 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 健康管理は充実した生活を送っていく上で、重要なものであるため定期的な健康診断を行なうことが大切である。 |

家庭、地域、その他関係機関・団体等との連携を密にし、児童・生徒の保健・安全に対する諸施策の充実を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 医療機関との連携事業 (H19-33) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 市内小・中学校に対し、学校医・学校歯科医・学校薬剤師を配置し、児童・生徒の保健・安全に関する指導を行なう。 |
| 事業実績 | (良い点)市内小・中学校に対し、学校医(内科・耳鼻科・眼科)・学校歯科医・学校薬剤師を各1名配置。児童生徒の健康診断や健康相談、学校の環境管理(水質検査・空気検査等)を行なった。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 児童生徒の保健・安全に関する指導については各学校に学校医・学校歯科医・学校薬剤師を各1名配置し、健康・体力づくりの推進に努めている。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 安全管理推進事業 (H19-34) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 各学校において学校保健・安全に関する年間計画を作成し、適切に実施するよう指導助言を行なう。 |
| 事業実績 | (課題)すべての学校において学校保健・安全に関する取組はできていたが、年間計画の作成に当たっては安全に関する計画書の作成がなされていない学校が2校あった。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 学校保健・安全に関する年間計画に基づき、それが実際に実施されているか評価点 |

| | |
|--|-----------------|
| | 検をしていくことが重要である。 |
|--|-----------------|

学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、給食内容の充実、給食指導の工夫改善や米飯給食を積極的に推進し、魅力ある学校給食の充実に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 学校給食施設等衛生管理事業 (H19-35) |
| 担当課係 | 学校教育課 学校給食係 |
| 事業概要 | 安全、安心でおいしい給食の提供に心がけ、学校給食施設及び調理従事者の衛生管理を徹底し、調理施設のドライ運用を行い、食中毒の防止また、調理従事者の健康チェック、手洗いの徹底を行う。 |
| 事業実績 | (良い点) 調理従事者の細菌等検査を毎月2回実施。 (課題) 上山田小、嘉穂中は完全ドライ運用であるが、他の学校施設において改善が必要である。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 学校給食については、自校方式・センター方式での違いはあるが、安全・安心な調理に努め、内容の充実を図っている。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 食育及び収納対策事業 (H19-36) |
| 担当課係 | 学校教育課 学校給食係 |
| 事業概要 | 給食内容の充実を図る為、市内栄養教諭・栄養職員を中心に、献立作成委員会等で地産地消を推進し、食育の啓発に努める。また、公平な給食費負担を目指し収納率向上に努める。 |
| 事業実績 | (良い点) 毎月1回程度、地元産の野菜や果物を使用し、給食だよりで生産者を紹介し食育を行った。 (課題) 収納率 97.03% |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 衛生管理の徹底から地産地消の推進等、給食内容の充実に努め、食育の啓発や給食費の収納率向上に全力で取り組んでいる。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 学校給食業務運営事業 (H19-37) |
| 担当課係 | 学校教育課 学校給食係 |
| 事業概要 | 給食調理業務を自校方式及びセンター方式で運営を行っているが、施設整備も含め調理業務の効率化を検討。 |
| 事業実績 | (課題) 稲築給食センターについて、昭和63年に建設され老朽化が著しく、機械設備の補修又は更新がより必要とされる。嘉穂地区小学校統合により、調理業務の効率化を検討。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 施設設備等については格差が見られるので、そのことも考慮した調理業務の効率化を図っていく必要がある。 |

スポーツ指導者の養成・確保・活用を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 体育指導委員事業 (H19-38) |
| 担当課係 | 生涯学習課 スポーツ振興係 |
| 事業概要 | 体育指導委員を研修等へ派遣し指導力の向上を図り、地域及び市の事業の企画、運営において活用する。 |
| 事業実績 | (良い点) 既存の各地区の事業に加え「嘉麻市運動能力アップ親子塾」、「体力テスト」の全地区開催等広域にわたる活動も展開することが出来た。 (課題) 生涯スポーツの指導者育成にまで手が及んでいない。また、体育指導委員においては旧4市町の枠組みにおいて活動しているため、地域差が発生している。 |

| | |
|------|---|
| 総合評価 | B 概ね期待通り 各地区における独自の取り組みは継続しながら、嘉麻市における生涯スポーツ事業の推進を図るための統一した内容のプログラムを企画、立案し市内全域に向けての普及を図る必要がある。また、委員の委嘱期間満了に伴い、定数の見直し（削減）を検討すべきであるが、定数の見直しについて、現在支部単位での活動と全市的な活動の取り組みを行っている状況であり、しばらく定数の見直しは猶予を持った方が良いと料する。 |
|------|---|

地域における的確なスポーツ情報の提供に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | スポーツ情報提供事業 (H19-39) |
| 担当課係 | 生涯学習課 スポーツ振興係 |
| 事業概要 | 市及び附属機関が行なうスポーツ事業の情報を市民に提供する。 |
| 事業実績 | (良い点) 各事業について「広報」、「回覧」、「ポスター」、「ケーブルテレビ * 山田地区のみ」を媒体として情報提供を行なった。 (課題) 「広報」、「回覧」については行政区での配布、回覧となるため「見ていなかった。」、「回ってきたときには締切を過ぎていた。」という声が聞かれた。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 「広報」、「回覧」という方法は市内の世帯に広く周知するのに適した手段と考えるが、反面、地域の状況で情報の伝達する時間に差が生じることもある。できる限りスムーズに情報が共有できる取り組みが必要である。 |

住民のニーズに即応した地域スポーツの推進に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | スポーツ振興事業 (H19-40) |
| 担当課係 | 生涯学習課 スポーツ振興係 |
| 事業概要 | 各種運動教室、大会等の企画・運営を行なう。 |
| 事業実績 | (良い点) 「健康運動教室」等15教室、大会等を実施し、のべ約15,000人の参加があった。 (課題) 類似事業、参加者の伸びがない事業を整理する必要がある。参加者の固定化が目立つ。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 事業としては一定の成果を得ていると思われる。但し参加者が固定している事業もあり、プログラム内容の検討、新規参加者の開拓を考える必要があると考える。 |

学校と地域の連携による、子どもを惹きつけるスポーツ環境の充実を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 子どものスポーツ環境向上事業 (H19-41) |
| 担当課係 | 生涯学習課 スポーツ振興係 |
| 事業概要 | 子どもを対象とした夏休み期間や土曜日の午前中を利用した運動教室、クラス単位でも出場できる大会を実施した。 |
| 事業実績 | (良い点) 「ドッジボール大会」、「わんぱく運動教室」、「水泳教室」、「カヌー教室」、「楽しく走ろうふくおか子ども駅伝大会 in やまだ」、「サタスポ」を実施し延べ2,000人を超える児童が参加した。 (課題) 参加者が減少傾向にある事業もある。見直しが必要。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 子どもの体力低下が問題視される中、子どものスポーツ環境の整備は重要な課題と考える。事業展開の方法等を見直すことで参加者の増加が望めると考える。特に、少子化に伴い、参加人数の増加を図る方法について、更なる検討が必要と考える。 |

子どものスポーツ力の充実と体力の向上のための総合的な方策の推進に努める。

| | |
|-----|-------------------------|
| 事業名 | 子どもの体力向上推進事業 (H19-42) |
|-----|-------------------------|

| | |
|------|--|
| 担当課係 | 生涯学習課 スポーツ振興係 |
| 事業概要 | 体力向上及び苦手克服を主眼に置いた教室を実施する。 |
| 事業実績 | (良い点)「嘉麻市運動能力アップ親子塾」、「わんぱく運動教室」、「水泳教室」を開催し、のべ772人が参加した。 (課題)開催会場によって参加者の地域に偏りがある。会場を回すなどの対策が必要と考える。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 事業としての一定の成果は達成されたと考えるが、今後は健康福祉の観点等、関係各課と連携を深めた事業の展開が必要と考える。 |

既存施設の有効活用と管理運営の弾力化及びスポーツ振興の拠点づくりの推進に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 体育施設管理運営事業 (H19-43) |
| 担当課係 | 生涯学習課 スポーツ振興係 |
| 事業概要 | 体育施設の管理運営に関すること 市内28施設の運営管理(うち2施設については指定管理者制度を導入済) |
| 事業実績 | (良い点)市内28施設の管理運営を行なった。約45万人の人が利用した。 (課題)施設老朽化の問題により、修繕工事等により施設管理費が増加している。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 施設数、受付及び管理の体制がまちまちであり、今後の調整が必要である。施設の老朽化等の問題もあり、体育施設の運営に関して長期的な計画をたて実施していく必要がある。また、施設利用者の意見も取り入れて、利用し易い施設作りを取り組むべきである。 |

総合型地域スポーツクラブの設立に向けた指導助言並びに育成支援に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 総合型地域スポーツクラブ支援事業 (H19-44) |
| 担当課係 | 生涯学習課 スポーツ振興係 |
| 事業概要 | 総合型地域スポーツクラブ運営の指導助言等の支援を行なう。 |
| 事業実績 | (良い点)既存総合型地域スポーツクラブと県との連絡調整を行なった。 (課題)新規総合型地域スポーツクラブの設立に至っていない。 |
| 総合評価 | C 課題あり 総合型地域スポーツクラブの趣旨の周知を行なうとともに、青少年から高齢者を対象とした多様なプログラムを提供し、その支援を行い事業の拡大を図る必要がある。特に、総合型スポーツクラブの趣旨の周知を行なう場を設けて、支援していくべきである。 |

重要課題 5 豊かな人生と未来を拓く生涯学習社会の実現

人々の価値観や生活様式が多様化し、生きがいづくりや社会参加につながる学習意欲が向上する中、市民が自由に学習機会を選択して学ぶことができ、社会の中で自己実現を図れる生涯学習社会の構築が重要な課題となっている。

このため、関係機関・団体との連携による全市的な生涯学習推進体制を整備するとともに、市民の多様な学習ニーズにこたえる生涯学習機会を拡充し、学習成果を生かす場の提供に努める。

生涯学習推進体制の整備をはじめ、生涯学習の総合的推進を図るとともに、地域の生涯学習施設を活用して生涯学習活動を推進する。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 生涯学習推進事業 (H19-45) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 嘉麻市の生涯学習を推進させていくために、下記の事業に重点を置き事業の推進を図る。 ・社会教育委員活性化事業 ・生涯学習モニター事業 ・嘉麻市「わたしのエッセー」事業 |
| 事業実績 | (良い点) エッセーにおいて、昨年度は小学生が 351 編、中学生が 158 編だったが、今年度は小学生が 457 編、中学生が 191 編の合計 648 篇となっており、多くの子どもたちに関心を持ち始めた。 (悪い点) モニター制度について、公募を行ったが 1 件の応募もなく、市民の関心の低さを痛感させられた。応募要領について再度検討し、制度の確立を図りたい。 (課題) 今日の課題について社会教育委員への諮問を行い、嘉麻市に必要な具体策を研究していく必要がある。行政改革で、補助金、施設等について見直しを求められており、社会教育委員からの意見等を参考に考えていく。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 合併後の格差是正と、行政改革に伴う業務等の見直しにより、合併前の事業を継承してきた。各市町において取り組んできた歴史が異なるため、短期間での整理統合は難しいが、今後事業の見直しが必要な時期に来ている。社会教育委員や生涯学習モニターを活用し、市民のニーズに沿った市としての方向性を定め、事業を推進していく必要がある。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 公民館・分館維持管理事業 (H19-46) |
| 担当課係 | 生涯学習課 中央公民館係 |
| 事業概要 | ・稲築地区公民館 ・山田地区公民館 下山田分館 ・嘉穂地区公民館 大隈分館・千手分館・足白分館・宮野分館 各公民館・分館の利用者が、安心して気持ちよく学習等が行われるよう、また、地域の拠点として機能するように、施設の維持管理を行う。 |
| 事業実績 | (良い点) 効率的な運営がされており、維持管理経費も前年並みに推移している。 (悪い点) 老朽化が進んでいる館があり、修繕等の費用が増えている。 (課題) 稲築地区公民館については、施設の老朽化に伴う修理費等の増、建築年が古く手狭であり、代替施設の検討も必要である。また、施設管理人を含め、管理方法の見直しが必要である。分館の維持管理については、今後地元移譲のことも考え、関係機関との調整が必要である。嘉穂地区分館については、小学校の統廃合に伴う、学校の利用についても検討が必要である。 |
| 総合評価 | C 課題あり 各館ともに老朽化がすすんでおり、特に分館については、地元移譲も検討されるなか、小学校の統廃合、通学区域の再編とあわせて、地域コミュニティの再構築に向けて、今後、関係機関との調整が必要である。 |

国際化・情報化等社会の変化に対応できる図書館活動に努めるとともに、山間地域では、移動図書館車の巡回により、市民の読書普及活動を推進する。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 子ども読書活動推進計画策定事業 (H19-47) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 嘉麻市の子どもたちがあらゆる機会と場所において、自主的に読書が出来る環境を整えるため、学校・保育園・図書館・その他子どもに関する機関が連携をとることを目的に、子ども読書活動推進計画を策定する。なお、本事業は、嘉麻市の「人づくり、まちづくり」の一環として実施する。 平成19-20年度をかけて策定し、21年度から具体的事業の実施に当たることとする。 |
| 事業実績 | (良い点) 計画は未完成であるが、委員会を設置したことで、他部局への意識の啓発につながった。 (悪い点) 行政改革関連業務により、計画の策定が遅れていること。 (課題) 行政改革により図書館が指定管理者への移行が検討されており、指定管理者になることで、行政の意図する事業転化がスムーズに行えるかが課題で、計画をどのように立てれば、円滑なる事業推進が図れるか調査が必要である。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 計画の策定作業に一部遅れを生じているが、策定体制の整備等準備は整っており、本格的に策定作業に着手している。 |

社会教育関係職員の資質の向上を図るとともに、関係団体等の指導者の養成とともに、ボランティア活動の育成と支援に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 関係団体、ボランティアの育成支援事業 (H19-48) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 大学連携共同研究事業 九州大学大学院の方とともに、社会教育職員の資質向上に向けた研修会を実施する。19年度は地域活動指導員を中心に4回実施した。また、家庭教育事業について指導をいただき、共に検証を行った。 各種団体育成支援事業 各社会教育関係団体については、補助金を交付することで活動の支援を行っているが、子ども会等指導が必要な団体については、職員及び地域活動指導員が指導・助言を行っている 社会教育主事育成事業 社会教育職員をその専門職である「社会教育主事」として養成することで、嘉麻市の社会教育事業の充実を図る。 |
| 事業実績 | (良い点) 大学連携、主事育成を通して、社会教育職員の資質向上を図ることができた。また、指導が必要な団体については、職員に依存する体質から自立に向けて動き出すことができた。 (悪い点) 職員研修については、全体的な研修を開催することができず、一部の職員に偏りすぎた。また、各団体への指導については、自立に差異が生じている。 (課題) 職員の資質向上については、県等の研修会に積極的に参加するとともに、研修会を開催する。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 職員の資質向上については、職員全体に広げる必要があるものの、研修の報告等がなされているため、概ね図れている。また、団体支援については、職員と指導員の意識を統一し、共通した指導・助言を行う必要がある。 |

学校施設の開放及び効果的活用を促進するとともに、地域の様々な教育資源を活用して学校教育活動を支援するなど、学校教育と社会教育との連携に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 学校教育活動支援事業 (H19-49) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 仕事や趣味などを通じて身につけた知識・技術・資格等を有する人にボランティア人材バンクに登録をしてもらい、学校(依頼があれば)へ出向き授業やクラブ活動での支援を行う。 |

| | |
|------|--|
| 事業実績 | <p>【数値目標、実績】嘉麻市内の17校すべてへの学習支援。内7校利用。 (良い点)学校への支援は、小中学校合わせて45回。支援者の学びの継承につながり、学校に関わることで地域の人たちと学校との交流ができた。 (課題)ボランティア人材バンク派遣事業の周知、学校の情報を収集し活用できるような様々なプログラム案の提供や、情報交換が必要である。(学社連携融合会議)</p> |
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り ボランティア人材バンク派遣事業を理解され、学校教育活動の支援につながっていると思われる。市内17校への支援につながるよう更なる周知が必要である。 また、現在、どのようなサークル活動が行なわれてかわかりにくいので、活発なサークル活動が人材バンク登録・活用につながると思う。</p> |

社会教育関係団体の育成とその活動の充実に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 社会教育関係団体育成事業 (H19-50) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | <p>「市民がつくるまちづくり」「地域が元気なまちづくり」を2本柱とした嘉麻市第1次生涯学習推進計画を基に青少年の健全育成、地域文化の振興発展に携わる各種団体の自立支援並びに人材(指導者)の育成。 嘉麻市青少年育成住民会議 嘉麻市子ども会指導者連合会 嘉麻市文化協会</p> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市青少年育成住民会議 平成20・21年度>各種団体加盟の促進並びに各支部統一した共通事業の確立 ・嘉麻市子ども会指導者連合会 平成20・21年度>ジュニアリーダー養成研修の実施 |
| 事業実績 | <p>(良い点)自立に向け、会員等の自主運営に対する意識の向上など概ね進捗している。 (悪い点)各種団体への統一した支援が分室を含めまちまちであった。 (課題)各種事業を展開、推進する中、会員等の価値意識が不均衡である。</p> |
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り いずれの団体も合併前、18年度、19年度から鑑みると、自立、自主運営の気運の高揚が見られる。組織の再編、準備委員会の立ち上げなど意欲的に取り組んでおり、概ね良好と解する。</p> |

ボランティア人材バンクの確立と活用を図る。

| | |
|------|--|
| 事業名 | ボランティア人材バンク事業 (H19-51) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 各種団体へ人材バンクの活用・登録説明会。人材バンク登録者研修会。人材バンクニュースの配布。人材バンク派遣事業広報掲載。 |
| 事業実績 | <p>【数値目標、実績】校長会、地区公民館長会、各種団体総会等で説明。合同研修会1回実施(336名中96名)。人材バンクニュース前・後期2回全戸回覧。事業説明広報掲載1回。 (良い点)人材バンクへの理解が深まり、利用が増えた。 (悪い点)説明会を各地区開催するため嘉麻市全体の交流となっていない。 (課題)ニュースの内容の充実(広報)、嘉麻市全体の研修会、学社連携融合会議の開催。支援要望分野のないものについて、啓発等に力を入れる必要がある。</p> |
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り ボランティア人材バンク派遣事業を理解され、利用されている。全地域への生涯学習活動の支援につながるよう更なる周知が必要である。</p> |

地域におけるボランティアの育成と活動の推進を図る。

| | |
|------|-----------------------|
| 事業名 | ボランティア活動推進事業 (H19-52) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |

| | |
|------|--|
| 事業概要 | <p>「市民がつくるまちづくり」「地域が元気なまちづくり」を2本柱とした嘉麻市第1次生涯学習推進計画を基に地域におけるボランティアの育成と各種団体のボランティア意識の高揚を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、自主サークル団体並びに各種団体会員の方に「嘉麻市ボランティア人材バンク」への登録依頼 <p>【数値目標】10%増の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の事業等で「嘉麻市ボランティア人材バンク派遣事業」の活用奨励 ・ボランティア研修会の開催 |
| 事業実績 | <p>(良い点) ボランティア研修会の開催、人材バンクニュースの発行や市広報で事業の啓発を行い、地域住民のボランティア意識の向上に取り組んだ。</p> <p>(悪い点) ボランティア派遣依頼先が偏るなど地域での格差は否めない。</p> <p>(課題) 特に嘉穂、山田、碓井地区の地域活動への啓発が必要である。</p> |
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り</p> <p>合併前、18年度は稲築・碓井地区のみの事業であったが19年度嘉麻市全域で事業が展開できた成果は、概ね良好と解する。</p> |

関係機関・団体との連携・協力体制の整備並びに、ボランティアのネットワーク化を図り、お互いに学ぶ生涯学習の推進を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | ボランティアネットワーク推進事業 (H19-53) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | <p>仕事や趣味などを通じて身につけた知識・技術・資格等を有する人に登録をしてもらい、市民の生涯学習活動の支援を行うことにより、互いに気持ちよく学び交流を行う。また、登録者のボランティア意識の高揚を図るため登録者向けの研修会の実施。</p> |
| 事業実績 | <p>【数値目標、実績】合同研修会1回実施(336名中96名)。</p> <p>(良い点) ボランティア人材バンクの登録者の増加及び活用者・団体の増加。登録者の研修では、336名中96名の参加があり、登録者の意欲が感じられた。</p> <p>(課題) 研修参加者(登録者)の意見交換時間を設け、更なるネットワーク化を図る。</p> |
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り</p> <p>ボランティア人材バンク派遣事業を理解され、支援すること、学ぶ事で活力が湧いてきている様子がうかがえる。</p> <p>ボランティア人材バンクの登録者の意見交換会や研修会、又団体のネットワーク化を図り、更なる推進につなげるべきである。</p> |

地域における芸術文化の創造を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 地域文化向上事業 (H19-54) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・第63回福岡県美術協会巡回筑豊展巡回展として、県展入選者並びに筑豊ブロック出展者の作品を展示する。 ・クリスマスキッズコンサート 地域で活躍しているバンドの方々を招き、クリスマスに素敵な音楽を提供することで、地域の文化向上に努める。 |
| 事業実績 | <p>県展【参加目標数 300人 実績 334人】</p> <p>クリスマスコンサート【参加目標数 300名 実績 307名】</p> <p>(良い点) 美術展覧会、コンサートともに地域住民の方々とともに、地域の文化振興に寄与できた。また、地域の方々と協力することで、地域活動への意識向上に繋がった。</p> <p>(悪い点) 全体を通して、参加者数等が少なく、ニーズ自体が少ないように思える。また、文化関係事業であるが、文化課との連携に乏しく、効率的に実施できていない。</p> <p>(課題) 文化課等関係機関との連携を密にする。また、地域の人材を十分に活用する等経費の削減を図り、効率的に実施しなければならない。</p> |

| | |
|------|---|
| 総合評価 | <p>C 課題あり</p> <p>事業全体での経費が高額であるため、費用対効果について考慮する必要がある。しかし、地域の力を十分に活用し、地域を中心に事業を実施することができれば、経費の減少や参加者も増え、より多くの方々へ事業の効果を普及することができる。また、美術展覧会については、開催場所を美術館にすることで、よりよい効果がみられることが予想され、課題として考慮する必要がある。</p> <p>また、地域の団体等を組織化し、十分活用すれば、よりよい効果がみられる事業ができると思う。</p> |
|------|---|

生涯学習における高齢者の生きがいづくりを図る。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 高齢者の生きがいづくり事業 (H19-55) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 市内全域への人材バンクの派遣（活用）及び人材登録。登録者対象の研修会開催。 |
| 事業実績 | <p>【数値目標、実績】嘉麻市4地区65歳以上の登録が97名。合同研修会1回実施(336名中96名)。</p> <p>(良い点)全学びの継続を触発させた。互いに学びあうことができた。</p> <p>(課題)嘉麻市の登録者の合同研修会する必要がある。</p> |
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り</p> <p>ボランティア人材バンク派遣事業を理解され、支援すること、学ぶ事で活力が湧いてきている様子がうかがえる。</p> |

公民館分館活動の活性化を図るとともに、助成に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 嘉麻市分館運営費補助事業 (H19-56) |
| 担当課係 | 生涯学習課 中央公民館係 |
| 事業概要 | <p>山田地区・嘉穂地区の8分館に補助金を交付し、地域活動の拠点としての機能を充実し、運営を支援する。</p> <p>【数値目標】平成18年度より、補助金の10%減額にて交付</p> |
| 事業実績 | <p>(良い点)各分館に補助金を交付することにより、分館の運営及び活動が活発に実施された。</p> <p>(悪い点)山田地区4分館と嘉穂地区4分館の運営形態に相違があり、今後調整する必要がある。</p> <p>(課題)補助金の算定基準等を明確にする必要がある。</p> <p>山田地区と嘉穂地区で、運営の形態に相違があるため、統一する。</p> <p>嘉穂地区4分館については、自主財源の確保に努める。</p> <p>稲築・碓井地区との、公民館の形態に相違があるため、今後調整を行う。</p> |
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り</p> <p>分館の運営については、それぞれのコミュニティの特性を生かしながら、分館長を中心に活動されており、事業の効果としては概ね期待通りである。今後、よりいっそうの公民館活動の活性化を、推進する必要がある。</p> |

地域コミュニティ（地域づくり）の拠点づくりを図る。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 嘉麻市自治公民館等活動費補助事業 (H19-57) |
| 担当課係 | 生涯学習課 中央公民館係 |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館運営補助金 <p>【数値目標】平成18年度より、補助金の10%減額にて交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館災害保険補助金 ・自治公民館修繕料補助金、自治公民館付属施設設置補助金 |
| 事業実績 | <p>(良い点)自治公民館に補助金を交付することにより、地域活動が活発に実施された。</p> <p>(悪い点)稲築地区と碓井地区の算定基礎に相違があるため、20年度で調整する。</p> <p>(課題)補助金の算定基準等を明確にする必要がある。</p> |

| | |
|------|--|
| | 山田・嘉穂地区との、公民館の形態に相違があるため、今後調整を行う。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 自治公民館の運営については、館長を中心に活動されており、事業の効果としては概ね期待通りである。 今後、よりいっそうの公民館活動の活性化を、推進する必要がある。 |

中央・地区公民館及び分館における、公民館講座の充実を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 公民館講座事業 (H19-58) |
| 担当課係 | 生涯学習課 中央公民館係 |
| 事業概要 | 中央公民館講座：公民館職員等研修会・男性料理教室・ふるさと講座 中央公民館事業：嘉麻市成人式 山田地区公民館：一般教養講座をはじめ、文化講座等全10講座。月1～2回実施予定。分館対抗3ちゃんグラウンドゴルフ大会・婦人学級 稲築地区公民館：ふれあい講座、一般コース・専門コース。盆踊り教室 丸碓井地区公民館：琴平学科（生花・園芸・陶芸・染物・コーラス学科）・盆踊り教室。公民館対抗ソフトボール・ベタンク・ソフトバレーボール大会 嘉穂地区公民館：益富大学・嘉麻川学習会・千手大学・足白学級・宮野さわやか塾・盆踊り教室 【数値目標】各講座の参加者の増員 |
| 事業実績 | （良い点）公民館研修会は新市になっての新規の取組であり、今後の公民館の活性化のため、重要な事業である。各公民館講座については、自主運営・自主サークルに移行している。 （悪い点）同じ講座に同じ人が受講しているため、新規講座の開設や、サークル化を進める必要がある。指導者育成までにいたっていない。受講生の高齢化による、受講生の減。 （課題）新規講座を開設することによって、新しい人の受講を増やし、公民館活動、生涯学習活動を推進する。指導者発掘・育成を踏まえ、継続した運営について協議、検討が必要である。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 各講座から、自主運営・自主サークルへの移行もされており、事業の効果としては概ね期待通りである。今後、新規講座を開設し、新規受講者の増加をはかり、公民館活動の推進をすすめる。子育て教育（家庭教育）等の講座の開設や、各公民館との連携により、地域の活性化を図れる事業を推進していくこと。 |

中央公民館 地区公民館 分館 自治公民館の連携を密にする。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 公民館運営審議会事業 (H19-59) |
| 担当課係 | 生涯学習課 中央公民館係 |
| 事業概要 | 嘉穂運営審議会の開催 【数値目標】年間3回 |
| 事業実績 | （悪い点）公民館関係者が委員にいない。 （課題）公民館運営審議会を立ち上げ、分館・自治公民館の活動の情報を交換し、今後の公民館の運営に関し、協議する必要がある。 |
| 総合評価 | C 課題あり 社会教育委員との兼務をやめ、公民館関係者等を委員に選出し、公民館運営、公民館活動の活性化のための専門的な意見や提言を受ける必要がある。 |

重要課題 6 豊かな人間性や志を持ったたくましい青少年の育成

青少年を取り巻く環境が激しく変化する中、志を持ってたくましく生きて行く青少年を育成するためには、家庭や地域の教育力の向上を図り、地域ぐるみで子どもたちに自主性・主体性や社会性をはぐくんでいくことが重要な課題となっている。

このため、学校週5日制の趣旨を踏まえ、関係機関・団体・企業等と連携し、家庭、学校、地域社会がともに手を携えて、「豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持ったたくましい青少年の育成」を目指す県民運動「青少年アンビシャス運動」を積極的に推進するとともに、家庭教育はすべての教育の出発点であることを踏まえて、家庭教育支援の充実を図るとともに、青少年の体験活動の拡充を図る施策の推進に努める。

青少年の健全育成のための啓発活動を推進するとともに、いじめ、不登校、薬物乱用問題などの解決に向けた総合的な青少年健全育成を推進する。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 総合的な青少年の健全育成の啓発活動事業 (H19-60) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 総合的な青少年の健全育成のための啓発活動並びに事業推進のため、次の組織等を設置し事業を展開している。 嘉麻市青少年問題協議会事業 嘉麻市少年相談センター |
| 事業実績 | (良い点) 上嘉穂警察署、青少年問題協議会、少年相談センター、少年補導委員連絡協議会、学校が連携を図り、巡回補導・街頭指導等を実施し、青少年の問題行動防止に努めた。 (課題) 青少年問題協議会組織並びに少年相談センター規則の改正等が求められる。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 業務に携わる者(委嘱を受けた者)の高齢化が見られるが、地域と密着に連携が図られており概ね良好と解する。 |

家庭の教育機能を高めるため、学校や地域との連携に努めるとともに、保護者等の学習・相談の機会や啓発運動を充実し、家庭教育支援の充実を努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 家庭教育支援の充実事業 (H19-61) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 乳児、幼児、学童期、中学生以上と子どもの成長に応じた保護者等の学習の機会を提供する。参加者中心の参加型講座とし、参加者どうしのつながりを深める。乳児を持つ保護者向け講座として4回連続講座を2回、学童期の保護者向けと中学生以上の保護者向け講座を各1回実施。 |
| 事業実績 | (良い点) 予定どおり、講座を開催することができた。講座参加者の満足度が非常に高く、日常の子どもへの接し方の変化、日常的な関係性が築かれた。特に乳児の保護者用の4回連続講座は地域に出るきっかけとなり、講座受講以降地域とのつながりができている。 |
| 総合評価 | A 期待通り 平成18年12月に教育基本法が形成され、家庭教育支援の充実を求める条文が明記され、社会教育行政の中で家庭教育支援を行う重要性が確認された。この取組により、個々の家庭の教育力が向上するだけでなく、地域のつながりが深まり、社会教育として行う「ひとづくり」のきっかけとなっているので非常に有効だと思う。特に乳児の保護者への呼びかけは有効。子どもの年齢によっては、住民のニーズが直接、講座に反映されにくい。 |

地域の教育力向上を図るため、指導者の養成・各種団体の育成及び活性化等、地域の環境づくりに努める。

| | |
|------|-------------------------------|
| 事業名 | 指導者の養成及び各団体の育成、活性化事業 (H19-62) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |

| | |
|------|--|
| 事業概要 | <p>・嘉麻市教育委員会補助金交付事業 本来行政が行うべき、青少年健全育成等事業を住民で構成されている社会教育関係団体が、自主的に活動できるよう補助金を交付する。 また、補助金の支出等の健全化を図るため、内容の精査やヒアリング等を実施する。</p> |
| 事業実績 | <p>【数値目標】目標 14 団体交付 実績 14 団体交付 (良い点) 補助金申請時に、申請から報告までの流れのフローチャートを配布し、理解を図った。 (課題) 補助金の減額についての理解と、お金だけではなく、研修会の実施等団体の資質向上を図らなければならない。</p> |
| 総合評価 | <p>C 課題あり 補助金の交付基準を作成する必要がある。それに則った補助団体に対しての指導・使途の精査を徹底する必要がある。また、補助金の交付のみではなく、指導者を対象とした研修会の開催、行政職員による指導・助言等団体指導者の育成が必要である。</p> |

地域のさまざまな教育資源を活用した学校教育活動の支援を行うなど、学校教育と社会教育の連携・融合に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 学校教育活動支援事業 (H19-63) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | <p>仕事や趣味などを通じて身につけた知識・技術・資格等を有する人に登録をしてもらい、学校(依頼があれば)へ出向き授業やクラブ活動での支援を行うボランティア人材バンク派遣事業の活用及び紹介。</p> |
| 事業実績 | <p>【数値目標】嘉麻市内の17校すべてへの学習支援。内7校利用。 (良い点) 地域資源の活用により授業等の幅が広がった。人との出会いが、豊かな人間性の形成の一助となった。 (課題) 学校の情報を収集、交換しながら、さらに活用できるような様々なプログラムの構築が必要である。(学社連携融合会議)</p> |
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り ボランティア人材バンク派遣事業を理解され、学校教育活動の支援につながっていると思われる。市内17校への支援につながるように更なる周知が必要である。また、PTAにも周知し、保護者の協力・理解を得ると活用が増えると考える。</p> |

青少年のボランティア活動等の社会奉仕体験活動や、自然体験活動を促進するなど、青少年の自主的・主体的体験活動の推進を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 青少年の体験活動の推進事業 (H19-64) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | <p>地域の方々自主的かつ効率的に実施するため、地域活動指導員として指導・助言を行う。 嘉穂地区 「お仕事体験 in サマー」「三ちゃん広場」「楽喜大将の会」「わんぱく広場」「くまっこ広場」 山田地区 「下小アフター 広場編 合宿編」「元気に夢さがし隊」 稲築地区 「友遊ネットワーク事業」「アンビシャス広場事業」「ジュニアリーダー育成事業」 碓井地区 「子ども体験キャラバン事業」「ジュニアリーダー研修」「アンビシャス広場事業」</p> |
| 事業実績 | <p>【数値目標】目標 484 回開催 実績 448 回開催 7,066 人参加 (良い点) 地域の方々が行う事業について指導助言し、多く子どもたちに体験活動を提供することができた。 (悪い点) 指導員として、地域の方々が行うことへの指導助言に留まるべきであるが、各事業とも指導員への依存が高く、指導員を中心に事業が進んだ。また、参加者が偏っている。 (課題) 指導員として、地域の方々自主的に活動できるようこれからも指導助言</p> |

| | |
|------|---|
| | していきが、それだけではなく、各事業を行う団体の構成員の充実を図る |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 合併前に行政中心に子どもの体験事業が行われてきたが、社会教育行政の縮小により、地域の方々を巻き込んでの事業を行うことが望まれる。各事業ともに子どもの参加者数が多いが、地域の方々が主体的に事業を行うにはまだまだ期間を要する。 |

幼児教育は幼児の発達段階での人格形成に重要な時期であり、家庭や関係機関との連携を図り健全育成に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 幼児教育時における家庭や関係機関との連携事業 (H19-65) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 幼児の保護者向けに親支援の8回連続講座を1回、幼児の父親向けに親支援の体験講座を1回実施した。 |
| 事業実績 | (良い点)子育ての情報を一方通行の講座形式ではなく、参加者中心の参加型にすることで参加者どうしのつながりができ、講座終了後に日常的なつながりが深まった。そのつながりから地域の子育て活動への参加が見受けられ、講座に参加していなかった周りの子育て中の保護者への影響も出てきている。 |
| 総合評価 | A 期待通り この取組みにより、個々の家庭の教育力が向上するだけではなく、地域のつながりが深まり、社会教育として行う「ひとづくり」のきっかけとなっているので非常に有効だと思う。 |

子育てに関する情報提供や学習機会の提供等、子育て支援の推進を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 子育てに関する情報及び学習機会の提供 (H19-66) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 次世代の親となる中学生に、助産師グループから妊娠・出産・育児についての話をしてもらい、乳幼児とその保護者とふれあい交流の場をつくることで、中学生が命の大切さや子育てについて考え、理解を深める。 |
| 事業実績 | (良い点)稲築中学校で学年ごとに3回(生徒320人、教育18人)命のはなしを行い、稲築東中学校2年生(生徒54人)には乳幼児(13人)とその保護者(12人)とのふれあい交流を行った。助産師さんからの話や、赤ちゃんとのふれあい、保護者から子育ての楽しさ・大変さを聞くことで、人に対して思いやる気持ちが出てきた様子などを学校から報告を受けた。 |
| 総合評価 | A 期待通り 文部科学省家庭教育支援総合推進事業の「次世代の親となる中学生のふれあい交流事業」として、国の事業費によって取組むことができた。学校と地域をスムーズにつなぐことができたのは、他の「家庭教育支援の充実」事業の参加者の協力が大きい。事業の関連性があったことで非常に効率よく取組めた。 また、他地域でも継続すべきである。 |

青少年の健全育成のための体制整備、関係団体の育成、支援を図る。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 青少年の健全育成のための体制整備及び関係団体の育成 (H19-67) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | 嘉麻市青少年問題協議会事業 地方青少年問題協議会法により定められている「青少年の指導育成、保護矯正に関する施策の審議及び関係機関の連絡調整」を実施する。その中で、会議を2回開催し、上嘉穂警察署や少年相談センター、学校教育課より青少年の現状報告があり、事務局として情報を発信することに努めた。 |
| 事業実績 | 【数値目標】目標 3回開催 実績 2回開催 (悪い点)会議自体が、報告のみに留まり、実質協議等が実施されなかった。また、様々な団体から選出された方が委員になっており、多忙な方が多かった。 (課題)周辺自治体の活動を参考にし、協議会のあり方について考えていかなければならない。 |

| | |
|------|---|
| 総合評価 | <p>D 事業見直し要</p> <p>会議を実施しているが、その会議の内容が報告に留まっており、近隣市町村でもその事業の見直しを行っており、設置しているのは飯塚市のみであるため、事業の見直しを行わなければならない。</p> |
|------|---|

学校と地域住民の架け橋となり、学社連携・融合事業の推進を図る。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 学社連携・融合事業の推進事業 (H19-68) |
| 担当課係 | 生涯学習課 社会教育係 |
| 事業概要 | <p>学校と地域団体間のコーディネート</p> <p>各地区での子どもたちへの体験活動事業を実施するにあたり、活動団体と学校の間に入り、広報活動等が効率的に行えるよう、地域活動指導員がコーディネートを行っている。</p> |
| 事業実績 | <p>(良い点) 事業の実施について学校の協力が得られることで、広報活動等効率的に行うことができ、子どもの参加者数が多くなる。</p> <p>(悪い点) 地域住民の方が学校に入るためのコーディネートに留まっており、学校が地域に出て行けるよう踏み込んだコーディネートが必要である。</p> <p>(課題) 学校教育課と生涯学習課及び学校が意見交換できる学社連携会議の実施。</p> |
| 総合評価 | <p>C 課題あり</p> <p>地域からのみの発信で終わってしまい、学校からの要求を引き出すためのコーディネートが必要であり、課題が残っている。学社連携会議等、地域と学校、行政が一同に介し、協議連携が行えるような事業等の推進を行わなければならない。</p> <p>社会教育は地域活動が基盤であり、本市では指導員は努力している。教育委員会は社会教育委員が提言したい内容を受け止めて、教育行政に携わるべきだと思う。そのための会合が必要である。</p> |

重要課題7 人権尊重精神を育成する教育の推進

心豊かな市民生活を実現するため、市民一人一人が個人として尊重され、その個性や能力を十分に発揮できるような差別や偏見のない社会づくりが重要な課題である。

このため、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」に基づき、国の「人権教育・啓発に関する基本計画」及び「福岡県人権教育・啓発基本指針」を踏まえ、広く市民の間に多元的文化、多様性を容認する共生の心を醸成するとともに、一人一人が相互の人権を尊重する社会の確立を目指すよう、同和教育をはじめとする人権教育・啓発をすべての学校・地域社会において推進する。

児童生徒の人権尊重の意識を高める教育の充実に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 人権教育推進事業 (H19-69) |
| 担当課係 | 学校教育課 教務係 |
| 事業概要 | 福岡県人権教育・啓発基本指針に基づき、学校教育活動全体を通して児童生徒が共生の心を身につけるとともに、自分らしさや能力を十分に発揮し、人権問題を主体的に解決していく力を身につけことができるよう指導していく。 |
| 事業実績 | (良い点) 各学校において児童生徒の発達段階に応じて同和問題をはじめとする様々な人権問題に取り組んでいる。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 各学校では児童生徒における人権尊重の精神を育成する教育の充実に努め、自他を大切にし、様々な人権問題を主体的に開設する教育を計画的に展開している。 |

社会教育における人権に関する学習の推進に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 人権教育推進市町村事業 (H19-70) |
| 担当課係 | 生涯学習課 人権・同和教育係 |
| 事業概要 | 人権問題研修会・碓井琴平学科人権出前講座・企業老人会等人権問題研修会(行政区単位、希望制。行政区が自主的に選んだ人権ビデオを見た後に指導員が問題を提起する。) |
| 事業実績 | (良い点) 自主的に選んだテーマであるので、参加者の意識も高く感想も好評である。研修効果としては高い。 老人クラブ人権問題研修会(参加者数 155名)・琴平学科(参加者数 263名) |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 稲築地区の利用が多く碓井・嘉穂・山田での活用が望まれ、おおむね期待通りであるが、旧市町時代からの格差が今日もお尾を引いているため、統一平準化の必要があると思われる。特に山田地区への対応が望まれる。 |

嘉麻市人権教育・啓発基本指針等に基づき、学校や地域社会における人権教育の推進に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 人権教育推進市町村事業 (H19-71) |
| 担当課係 | 生涯学習課 人権・同和教育係 |
| 事業概要 | 各種大会、研究講座等に参加し、意識の向上に努め、活かせる場に積極的に参加をする。 |
| 事業実績 | (良い点) 嘉麻市人権・同和教育研究協議会・人権問題地域懇談会等により、市民に還元できているのではないかと。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 概ね期待通りではあるが、市内全域で同じ回数地域懇談会等ができ、広く市民が参加できるように事業内容の充実と広報に努める必要がある。 また、行政職員の研修を強化し、人権意識の更なる高揚が必要である。業務の継続性を考慮した人事が望まれる。 |

人権・同和教育(啓発)の推進を図る。

| | |
|-----|--|
| 事業名 | 人権教育推進市町村事業 (H19-72) * (H19-70)と同じ |
|-----|--|

解放子ども会の育成を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 児童・生徒の人権意識の育成事業 (H19-73) |
| 担当課係 | 生涯学習課 人権・同和教育係 |
| 事業概要 | 嘉穂地区もやい子ども会（月に2～3回開催。人権学習、体験学習、補充学習を主な内容として実施。） 碓井地区子ども会（各集会所において、人権・体験・補充学習等を実施。） 稲築地区子ども会（月に3回開催。人権・体験・補充学習を行っている。） |
| 事業実績 | （良い点） 嘉穂もやい子ども会 ・開講式（参加者84名） ・もやい子ども会合宿研修会（32名参加） ・小・中合同子ども会（計136名参加） 碓井地区子ども会 ・開講式（参加者76名） ・碓井解放子ども会合宿研修会（小学生72名・中学生76名参加） 稲築地区子ども会 ・解放子ども会合宿研修会（参加者80名） |
| 総合評価 | C 課題あり 解放子ども会の実施状況としては、年々減少傾向になっている。原因としては、若い親の意識の違いが大きく関与して、子どもたちに影響していると思われる反面、地区によって教職員、行政職員の係わりにも差異があり、市全体の課題として、事業の運営について再点検の必要がある。 また、学校側との連携が重要である。 |

人権学級の開設に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 人権教育推進市町村事業 (H19-74) |
| 担当課係 | 生涯学習課 人権・同和教育係 |
| 事業概要 | 稲築地区・碓井地区・嘉穂地区と解放学級を行っているが、現状は、実施学級の減少が見られて、稲築においては4/2学級と教養講座1講座まで減少している。碓井地区においても、10/9学級と教養講座3講座である。嘉穂地区においては、9/7学級で教養講座3講座となっている。 【数値目標】 月1回開催 |
| 事業実績 | （悪い点）学級生の高齢化、固定化や、運動体の組織問題の影響で参加者減や休講が多くなった。 ・もやい学級子ども会実践交流会【参加者実績136名】 ・碓井解放学級合同学習会「講師を招き講演をしたが、内容が少し難しかった。【参加者実績56名】 ・稲築解放学級については、学級生の激減により学級存続が危ぶまれるが、指導者研修会も最後の研修を行的が浜事件を研修した。【参加者実績13名】 |
| 総合評価 | C 課題あり 高齢化、固定化、組織問題等により、地区全体としての学級開設が実施できていないが、運動体とも協議を進めながら、学級開設の地区を増やしていかなければならない。 一方、38年の歩みを続けて来た解放（識字）学級は、一定の大きな役割を果たしてきたと思う。諸々の状況が大きく変化しつつある今日、学級のあり方について再検討する時期がきている。 |

重要課題 8 心豊かな人をはぐくむ芸術・文化の創造と歴史的・文化遺産の保護と活用

人々のニーズや学習内容等が多様化・専門化し、生涯を通じ学んだことを活かすことができる「生涯学習社会」の実現が求められている。

こうした背景を受け、伝統文化を尊重しながらも、市民の文化芸術活動が活発に行われ、互いに学びあい、喜びを享受し、特色ある地域文化が創造されるような歴史・文化の環境づくりが求められている。

このため、質の高い芸術文化を楽しみ、気軽にふれる機会の充実を図り、誰もが集う本のある広場として市民に役立つ様々な情報を提供するとともに、市民共有の財産として文化財の保護・活用に努め、郷土を誇りに思う、心豊かなまちづくりに努める。

美術館の常設・企画展の充実及びギャラリーの活用を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 美術館施設の維持管理事業 (H19-75) |
| 担当課係 | 文化課 美術館係 |
| 事業概要 | 5つの展示室と市民アトリエ室、資料閲覧室、及び収蔵庫、郷土館の施設を適切に維持管理し、一般公衆の利用に供する。 【数値目標】清掃委託料等経常的委託料の20%削減。 |
| 事業実績 | (良い点) 数値目標の20%削減までには、至らなかったが、委託契約の内容見直し等により14%の削減を行うことができた。 (悪い点) 施設利用者の増加に努める必要がある。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 経常的経費の見直し等を行い、効率的な運用を行うことができた。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会事業 (H19-76) |
| 担当課係 | 文化課 美術館係 |
| 事業概要 | 美術館の運営に関し、館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる。 【数値目標】2回の開催。 |
| 事業実績 | (良い点) 予定とおり計2回の運営協議会を開催した。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 多方面から様々な意見があり、建設的な審議を行うことができた。 合併に伴い、4地区の美術協会の連携が密になり、美術館の展覧会企画や市民参加のギャラリー活用策などについて、新たな運営協議会での議論も活発になっている。今後は、新学習指導要領で充実が唱われる、小学校の図画工作科、中学校の美術科における鑑賞教育での活用策について、校長会などと協議しながら、児童生徒の利用促進を図っていく必要がある。また、運営協議委員会委員に対し、館収蔵作品について研修を行う必要がある。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 特別企画展事業 (H19-77) |
| 担当課係 | 文化課 美術館係 |
| 事業概要 | 著名な作家や郷土ゆかりの作家の作品を展示し、優れた作品を鑑賞する機会を設け感性を育み心豊かな人材の育成を行う。 【数値目標】3回の開催。 |
| 事業実績 | (良い点) 予定どおり計3回の特別企画展を開催した。 「嘉飯山の画家たち展 2007」「築山節生の描いた九州観光アート展」「たのしいこどものびじゅつてん」 (課題) いずれの展示会も入館者数が横ばい状態である。企画の内容並びに広報の方法等を見直す必要がある。 |
| 総合評価 | C 課題あり 入館者数は、いずれの企画展も横ばい、もしくは減少傾向にある。企画展そのもののあり方や内容、広報手段等を再検討する必要がある。 入館者数の横ばい、もしくは減少傾向については県内の他館でも課題になっている。今後は単独館での企画展企画だけではなく、筑豊地域の田川市美術館、直方谷尾美術館で結ぶ「ちくネット」を活用しながら、地元在住及び出身アーティストを |

テーマに、共同企画、巡回展などを模索していく必要がある。

美術関係資料の収集保管及び調査研究に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 織田廣喜に関する資料の収集・活用事業 (H19-78) |
| 担当課係 | 文化課 美術館係 |
| 事業概要 | 当館所蔵の織田廣喜の絵画等をその時々キーワードに基づき展示し、常設展だけでは、紹介できない織田廣喜の魅力を広くアピールする。 【数値目標】3回の開催。 |
| 事業実績 | (良い点)計5回の館蔵品展を開催した。 「春の館蔵品展2007」「ファインダーから覗いたすてきなうち」「秋の館蔵品展」「冬の館蔵品展」「春の館蔵品展2008」 (課題)同じ、織田廣喜作品でも、展示構成により、入館者数が増減されるため展示内容を十分に考慮する。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 常設展では紹介することのできない作品をテーマごとに展示し、織田廣喜の作風や魅力を広く周知することができた。 筑豊が生んだ二科会画家である「織田廣喜」の魅力を市民が発見できるように、織田の人間研究、作品研究を進める必要があり、その研究成果を踏まえて、企画展を実施していくことが望まれる。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 地域作家の資料収集・保存事業 (H19-79) |
| 担当課係 | 文化課 美術館係 |
| 事業概要 | この地域にゆかりのある芸術家について調査、研究をすすめ、広く作品について情報公開を行う。 【数値目標】地域ゆかりの作家の特別企画展を開催する。 |
| 事業実績 | (良い点)予定どおり1名の作家(築山節生)を特別企画展において紹介した。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 筑豊ゆかりの作家「築山節生」について、遺族の協力を得て、調査、展示を行うことができ、住民の芸術活動推進の一助となった。 今後も地元作家の発掘、研究を進めていく必要がある。 |

各種美術講座や学校教育と結びついた教育普及事業等の充実を図る。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 美術教育普及事業 (H19-80) |
| 担当課係 | 文化課 美術館係 |
| 事業概要 | 芸術作品等の学習機会の提供として、成人向け講座及び児童向け講座を開催する。また、市内小中学校と連携をとり、美術鑑賞教育の充実を図り、心豊かな人材の育成に努める。 【数値目標】 成人向け講座 年間講座2・短期講座1 児童向け講座 年間講座1・短期講座1 |
| 事業実績 | (良い点)数値目標どおり開催 成人向け講座・・・ 絵画学科 年間22回 受講者数延べ792人 水墨学科 年間22回 受講者数延べ550人 体験講座(アクリル画) 2回 受講者数延べ34人 児童向け講座・・・ ジュニア美術学科 年間12回 受講者数延べ516人 わくわくアトリエクラブ 6回 受講者数延べ57人 学校との連携・・・ 職場体験学習 稲築中学校3年生 3人 2日間 (課題)成人向け講座内容の見直しと学校との連携による美術館活用の促進が今後の課題である。 |
| 総合評価 | C 課題あり 同一講座に同じ人が長く受講し、一部サークル化しているものがある。各種講座について、対象受講者や受講期限など内容を再検討する必要がある。 |

| | |
|--|---|
| | 教育普及事業は美術館が社会教育施設であることから、必置の事業と考えられる。そのため、より多くの市民がその事業に関われるように配慮しながら、事業を企画していく必要がある。特に、近年、美術館単独での事業だけではなく、各機関と連携する方法も模索できる。嘉麻市であれば、近郊の近畿大学などの公開講座を共同企画、その企画を行政側だけで進めるのではなく、市民の参画を得るという方法も考えられる。 |
|--|---|

図書館利用の促進と行事の充実を図る。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 図書施設の運営管理事業 (H19-81) |
| 担当課係 | 文化課 図書館係 |
| 事業概要 | 開館日に関しては、原則として祝日開館をしている。開館時間に関しては、早朝開館（稲築は9：00から、碓井は9：30から）と夜間開館（稲築と山田は19：00まで）を行っている。 【数値目標】碓井図書館と稲築図書館 早朝開館 週5回。山田図書館と稲築図書館 夜間開館 週5回。 |
| 事業実績 | （良い点）予定どおり実施。 早朝開館 碓井図書館と稲築図書館 週5回。 夜間開館 山田図書館と稲築図書館 週5回。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 適切な維持管理を行うことができた。 公共性が保たれているか。納税者（市民）からすると高齢者が多くなる中、図書館に行くと本が見たい借りたいと思っても行けない人が多くなっていく。その点、移動車の活用がより大切で人口から見ても利用率がそれを示している。早朝や夜間の開館については館で固定されているので時間帯による利用者数を調べて、よりニーズに応えるようにしてはどうか。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 嘉麻市立図書館協議会 (H19-82) |
| 担当課係 | 文化課 図書館係 |
| 事業概要 | 図書館の運営に関して館長の諮問に必ずしも、図書館の行うサービスについて館長に対して意見を述べる機関である。嘉麻市立図書館条例 第8条では、委員の定数は12人以内と定めている。 【数値目標】年2回の開催。 |
| 事業実績 | （良い点）予定どおり実施 委員は10人で予定どおり2回開催。 |
| 総合評価 | A 期待通り 4地区の学識経験者、学校教育関係者、図書ボランティア等から選出され、それぞれの分野からの意見を活発に出され、図書館運営に反映している。 委員の選定は各分野から選出されていることは良いが、今回の行革ですでに新聞報道がなされ利用者の代表である協議会の意見聴取もされずに公表されている。これでは、図書館協議会の必要性があるのだろうか。また、年2回の開催では間があきすぎるため途中経過を含めた年3回にしてはどうか。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 図書資料の収集・保存事業 (H19-83) |
| 担当課係 | 文化課 図書館係 |
| 事業概要 | 図書館システムの統合により、各図書館の蔵書構成がわかるようになったため、4館それぞれ特色を持った資料の分担購入が可能である。また、保存に関しては、地域の特色や図書館の収容面積を考慮し、4館で分担保存をしている。寄贈図書の入りに関しても、市内で所蔵していない資料を中心に各館で選定している。 【数値目標】人口 45,000人 蔵書数 218,000冊 新規図書購入数 18,000冊 |
| 事業実績 | （良い点）予定どおり実施（蔵書数 273,902冊、分担収集 各図書館の目標どおり。） （悪い点）目標より少ない 新規図書購入 13,788冊 |

| | |
|------|---|
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り</p> <p>稲築図書館の収容面積が小さいが、選書数は増やしている。毎年、予算額が減額され現状維持が困難になってきており、分担保存の充実を図るため予算の確保に努めるべきである。また、稲築は図書館とは言いがたい（公民館図書室）施設であり、書籍を増やせば良いというものではない。従前、住民アンケートで図書館建設を第1位にランクされていた経緯がある。嘉穂のように立派な移動図書館車と同等でなくてライトバンの改造でも可。今こそ行政の姿勢・知恵を出すべき時である。</p> |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 事業名 | 図書資料の貸出事業 (H19-84) |
| 担当課係 | 文化課 図書館係 |
| 事業概要 | <p>図書館システムの統合により、資料は4館すべてで借りることも返すことも可能である。資料の物流に関しては、配本車が各館を毎日巡回することで、翌日には利用者届けられる体制を整えている。また、所蔵していない資料は、市外の図書館と協力して、相互貸借により提供を行っている。移動図書館車は、嘉穂地区全域と稲築地区公民館へ運行している。</p> <p>【数値目標】 貸出数 26万冊 【数値目標】 登録率 人口の40パーセント</p> |
| 事業実績 | <p>(良い点) 予定どおり実施 貸出数(個人、団体の合計) 4館合計 269,688冊 稲築図書館 20,711冊 碓井図書館 40,543冊 嘉穂図書館 89,699冊 山田図書館 118,735冊</p> <p>(悪い点) 目標より少ない 登録率 34.8% (登録者数 15,895人/人口 45,672人)</p> |
| 総合評価 | <p>B 概ね期待通り</p> <p>図書館システム統合済。今後、運用面を含め更なる改善を行う。財政が困窮している中、システム統合を先に実施していただいたことは評価に値すると思う。これからはソフト面で各館が特色ある運営を行い、利用者の促進に努められることを希望する。</p> |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 読書推進事業 (H19-85) |
| 担当課係 | 文化課 図書館係 |
| 事業概要 | <p>各図書館では、一般向けに、教養や文化に触れることを目的として、古典文学を解説する講座や、郷土の作家を招いての講演会を実施している。また、資料の展示会や映画会等を実施し、その奨励を行っている。主な統一事業としては、図書館まつりと読書まつりがある。</p> <p>【数値目標】 講座は14回開催、まつりは1回開催。</p> |
| 事業実績 | <p>(良い点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座は14回開催。合計260人の参加。 ・まつりは2回開催。合計485人の参加。 |
| 総合評価 | <p>A 期待通り</p> <p>図書館が、住民交流の場となり、教養や文化に触れる場所となっている。広報活動や内容の充実に向け、創意工夫を続けるべきである。</p> |

児童及び青少年の課題解決支援サービスの実現に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 学校支援事業 (H19-86) |
| 担当課係 | 文化課 図書館係 |
| 事業概要 | <p>学校・学級への団体貸出(4地区)や学級文庫の貸出(碓井地区のみ)の実施。移動図書館車(嘉穂地区のみ)は、学校へ団体貸出の資料運搬の他、個人への貸出の実施。</p> <p>学校からの依頼により、職場体験や社会科見学の受入。</p> <p>司書が各地区の学校に出向きブックトークや読み聞かせ、福岡県アンビシャス事業の読書ボランティア派遣事業の実施。</p> |

| | |
|------|---|
| | 【数値目標】学級文庫の貸出は、1年生から6年生とたんぼぼ学級に50冊ずつ、2ヶ月に1回の入れ替えで年のべ5回の実施。移動図書館車は月7小中学校、のべ17日運行。職場体験13回 読書ボランティア派遣事業62回 |
| 事業実績 | (良い点) 予定どおり実施、団体貸出と学級文庫は4館合計で981団体11,463冊貸出。移動図書館車はのべ649ヶ所実施。職場体験はのべ13回36人受入れ。読書ボランティア派遣事業 62回 のべ186人。 |
| 総合評価 | C 課題あり 調整の上、年1回でも移動図書館車が各学校をまわるように検討する。 各学校からの要望によく応えている。移動図書館車については、貸出期間の関係から1台の車で全ての学校を巡回するのは困難である。ポイントを絞って、図書館から離れている蔵書数の少ない学校に重点に置くなど検討すべき。 |

子ども読書活動の推進を図る。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 子ども向け読書推進事業 (H19-87) |
| 担当課係 | 文化課 図書館係 |
| 事業概要 | おはなし会などの子ども向けの事業をボランティアや公民館等と連携し実施。子ども読書の日には、大人への啓発事業として子どもの読書についての講演会を実施。幼稚園・保育所や小学校(嘉穂地区のみ)へは、移動図書館車を運行。 【数値目標】子ども読書の日の講演会の1回実施、おはなし会(児童向け、乳幼児向け)、その他図書館の利用増加に繋がる事業の100回実施。図書館おすすめの子どもの本のリスト発行をし、ブックスタートや3歳児健診会場での配布。 |
| 事業実績 | (良い点) ・子ども読書の日の講演会は1回実施し、19人参加。 ・おはなし会や映画会はのべ100回実施し、1,600人参加。 ・子どもの本のリスト「0歳～2歳用」676冊、「3歳～用」270冊を配布のためブックスタート事業24回676人参加や3歳児健診時に6回270人参加。 (課題)行事のPR方法や大人への子どもの読書の大切さの啓発方法を検討推進する。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 図書ボランティアの参画により充実した事業実施がなされている。 現在、活躍中のボランティアが元気なうちに、次世代のボランティア育成が必要。 1回当たりの参加者が少ない。参加者を増やす創意工夫が必要。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 子育て支援事業 (H19-88) |
| 担当課係 | 文化課 図書館係 |
| 事業概要 | 合併前に稲築地区で実施していたブックスタート(4ヶ月健診会場で実施)を平成19年度からは全市に拡大。また、そのフォローアップ事業として、健康課との連携事業として3歳児健診会場で図書館のPRや幼児期の読書についての冊子を配布。その他にも、乳幼児向けのおはなし会、子育てに関する講演会を実施、地域の子育て支援センターへ司書を派遣。 【数値目標】ブックスタートに24回実施。講演会 4回実施。おはなし会 70回実施。 |
| 事業実績 | (良い点) ・ブックスタート 24回参加。676名の対象者に実施。 ・絵本ですくすく講演会等 4回開催 参加人数114人 ・おはなし会70回 参加人数1,000人 ・子育て支援センターへの司書の派遣回数 4回。 |
| 総合評価 | A 期待通り 図書ボランティアの参画により充実した事業実施がなされている。 子育て支援事業は、市長の公約の一つであり保健福祉部との連絡調整をより密にし、図書館ボランティアの参画を充実すること。 |

ボランティアの育成・活動に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 美術館ボランティア養成事業 (H19-89) |
| 担当課係 | 文化課 美術館係 |
| 事業概要 | 美術館運営に積極的に参画する人材を養成し、ボランティア活動を通じて市民が美術館運営に参画することで、施設の公共性を高めることを目的とする。 【数値目標】募集人員：10名 |
| 事業実績 | (良い点) 募集人員10名に対し7名の募集があり、鑑賞授業体験講座等研修会の参加、教育普及事業の補助等の活動を行った。 (悪い点) 目的が美術館運営に関することであまりに範囲が広すぎたため、研修内容も総花的になり、漠然としたものとなってしまった。 (課題) 今後は、分野ごとに内容を整理し、研修会を行う必要がある。 |
| 総合評価 | C 課題あり 特別企画展の会場係やジュニア美術学科の補助等のボランティア活動を行ってきたが、活動内容が曖昧なまま研修を行ったため、総花的な活動及び研修内容で終わっている。美術館運営のどの分野において、ボランティア活動を行うのか、活動内容を明確にし、研修会を行うことが必要である。 ボランティアの受入について、福岡県では北九州市立美術館、福岡市美術館、太宰府市文化ふれあい館などの先進事例がある。これらの事例では、館はどんな分野でボランティアを受け入れたいのか、例えば展示解説、資料整理など活動内容を明確化している。こうした先進各館の事例を調査研究し、どんなボランティアが織田廣喜美術館に必要なのかを検討していかなければいけない。 |

| | |
|------|---|
| 事業名 | 図書館ボランティアの養成事業 (H19-90) |
| 担当課係 | 文化課 図書館係 |
| 事業概要 | 図書ボランティアサークルは4館それぞれにあり、おはなし会、ブックスタートや学校での読み聞かせ等の活動、ならびに、視覚障害者用の録音テープや布の絵本を制作している。 【数値目標】養成講座 15回、講演会 1回、研修会 2回、交流会 1回。 |
| 事業実績 | (良い点) 予定どおり実施。 ・養成講座 朗読ボランティア養成講座(初級)6回、朗読ボランティア養成講座(中級)4回、布の絵本講座5回の合計15回。参加人数163人。 ・講演会 1回。参加人数42人 ・研修会 2回。参加人数72人 ・交流会 1回。参加人数63人 |
| 総合評価 | A 期待通り 連絡協議会の設立は県内でも2番目で、ボランティアとの協働を実現している。お互いが研鑽出来る良い関係にあり、図書館との協働がより深まればよい。 |

指定文化財の維持管理に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 指定文化財の維持管理事業 (H19-91) |
| 担当課係 | 文化課 文化財係 |
| 事業概要 | 嘉麻市に所在する国・県・市指定文化財を後世に伝えるため、日常的な管理及び保存活動、修理等への補助を行なう。 【数値目標】4件の指定物件の維持管理(平成18年度実績)。 |
| 事業実績 | (良い点) 県指定史跡の「鎌田原弥生墳墓群」、「沖出古墳」の草刈・芝管理、県指定無形民俗文化財「山野の楽」、市指定無形民俗文化財の「平山の獅子舞」、「下臼井西の盆綱」への補助金交付を予定通り実施。 (課題) 無形民俗文化財は過疎化に伴う継承者不足が常態化している。 |

| | |
|------|--|
| 総合評価 | B 概ね期待通り 維持管理経費は、大幅に削減されが、特に、無形民俗文化財の継承者不足と地域の過疎化により、無形民俗の保存継承が徐々に困難となっており、それに過疎化による財源の減少が拍車をかけており、市の補助への期待は増幅しているのが現状である。効率性においては、補助金の支払いに時間を要したため、今後、担当と地元との協議により解決を図る。 |
|------|--|

地域資料等の調査・収集・保存・活用に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 文化財保護審議会事業 (H19-92) |
| 担当課係 | 文化課 文化財係 |
| 事業概要 | 嘉麻市の文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議。 【数値目標】 2回の開催(平成18年度実績)。 |
| 事業実績 | (悪い点) 審議会の開催が遅れ、1回のみであった。 (課題) 女性委員の登用。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 審議会は1回であったが、具体的課題が複数提出され、内容が未解決のものも含め、20年度に課題の解決と最終判断を検討する。また、審議会委員の女性登用については、女性の専門家が極めて少ない状況の中、各方面からの情報を得ており、20年度に向けて協議を進めている。 文化財係が2名では、諸件に対し十分な対応ができない。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 文化財事前審査事業 (H19-93) |
| 担当課係 | 文化課 文化財係 |
| 事業概要 | 開発行為と文化財保護との調整を円滑に図るため、市内の開発行為等を早期に把握し、工事区域内の文化財等の有無を審査する。 ・事務処理件数56件(平成18年度実績)。 |
| 事業実績 | (良い点) 19年度の事務処理件数78件(内訳:書類審査72件、工事立会2件、試掘調査4件)で昨年度を上回った。 (悪い点) 工事立会については時間が確保できず、昨年度より減少。 (課題) 職員の外出作業が多く窓口業務の不十分さが恒常化(係として3名の職員配置が望ましい。)。 |
| 総合評価 | C 課題あり 各資料館等の管理運営、文化財調査など本庁外での職務が多い中、事前審査等の窓口業務の対応が不十分となっている。全体に人員不足の状況ではあるが、早急に専門人員確保の道筋を設けておく必要がある。 文化財係の増員が求められる。嘉麻市には貴重な文化財が多く、広い地域から注目されているが、その要望に応じきれない。 |

| | |
|------|--|
| 事業名 | 文化財の詳細調査事業 (H19-94) |
| 担当課係 | 文化課 文化財係 |
| 事業概要 | 各種文化財指定等の保存目的の調査及び開発行為等で消滅する埋蔵文化財等の緊急調査を直営あるいは委託により実施する。 |
| 事業実績 | (良い点) 竹生島古墳群の範囲内容確認調査を国庫補助事業として直営で実施し、史跡保存のための基礎データを収集した。 (課題) 開発行為等に伴う緊急調査については、組織として十分な対応できない(係として3名の職員配置が望ましい)。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 本事業については、職員が受け持つ他の事務事業に合せた日程を取らざるを得ず、効率性が悪い。また、複数カ所あるいは大規模な緊急発掘調査が生じた場合には、現行の2名体制では逆に他の事務事業に支障が生じる状況が想定される。現飯塚市は文化財専門職6名(課長1名を含む。)と一般事務職1名であり、組織体制の見 |

| | |
|--|--|
| | 直しが必要である。 嘉麻市には過疎の問題があると思う。住民が住んでいる所に誇りと自信を持って地域活性化に努めるようになるには、行政が推進役になる必要がある。緊縮財政にだけ熱を入れるのではなく、他土地の人を集める知恵をしぼる必要がある。 |
|--|--|

| | |
|------|--|
| 事業名 | 地域資料の収集・活用事業 (H19-95) |
| 担当課係 | 文化課 文化財係 |
| 事業概要 | 6つの資料館等で保管する歴史民俗資料の外部団体等への貸出、印刷物掲載等(模写等)許可、新資料の寄贈受入れの他、外部団体等への史跡・資料館の案内説明を行なっている。 【数値目標】 資料活用件数43件(内訳:貸出14件、模写等13件、案内・説明16件、平成18年度実績)。 |
| 事業実績 | (良い点)年度は、資料活用件数50件(内訳:貸出18件、模写17件、案内・説明15件)で昨年度を上回った。 (課題)学校教育現場での資料活用等が不十分。 |
| 総合評価 | C 課題あり 一点は学校への周知が不十分で、学校教育現場の施設利用等が低い点がある。これは、担当係の負うところが大きく十分な周知を図る必要がある。 もう一点は、6ヶ所の施設が散在しているため、40分前後の案内説明に往復30分近くかかる施設もあって、非効率であり、見学者も嘉麻市全体の資料を見学するには、施設を何ヶ所も回らなければならないという状況である。 まずは小学生(いや、その前)から嘉麻市の文化財に対する関心を持たせる必要がある。それが長い目で見れば、嘉麻市の発展につながる。 |

教育普及事業を推進し、文化財愛護意識の高揚に努める。

| | |
|------|--|
| 事業名 | 歴史民俗教育普及事業 (H19-96) |
| 担当課係 | 文化課 文化財係 |
| 事業概要 | 嘉麻市民及び筑豊地域の住民を対象に講座、展示会、その他文化財を活用したイベントを実施。その他、成果年報の作成公表、事業の周知化、刊行物の出版。 【数値目標】歴史民俗講座(179名)、ミニ企画展(477名)、文化の日イベント(33名)、春・秋沖出古墳特別公開(310名)の4事業で参加者総数999名(平成18年度実績)。 |
| 事業実績 | (良い点)歴史民俗講座(115名)、ミニ企画展(600名)、文化の日イベント(29名)、春・秋沖出古墳特別公開(385名)の4事業を実施。参加者総数は1129名で、昨年度を上回った。 合併に伴い史跡等の案内板を修正、新調した。 (課題)歴史ボランティアの育成。 |
| 総合評価 | B 概ね期待通り 参加人数・見学者数は増加しており、文化財の周知と活用については一定の効果を挙げている。しかし、ボランティアの新規会員が増えず、全体に高齢化している。また、内容もマンネリ化しており改善しなければならない。講座・展示会等については、事業の企画から実施までボランティア主体に移行すると、新たな試みや内容の充実が図られ、意欲的なボランティア活動と育成が可能かと考えられる。 |

歴史民俗資料館(室)の維持管理及び活用に努める。

| | |
|------|---|
| 事業名 | 歴史民俗資料館等の維持管理事業 (H19-97) |
| 担当課係 | 文化課 文化財係 |
| 事業概要 | 嘉穂ふるさと交流館、稲築文化ふれあい伝承館、碓井郷土館、碓井平和祈念館、稲築ふるさと資料室、山田郷土資料室の6施設(4館、2室)を運営し、活用を図る。 【数値目標】 4館利用者総数:4629名(平成18年度実績) |
| 事業実績 | (悪い点)19年度の4館利用者総数は4366名で、昨年度を下回った。 平日に管理人を置かなくしたことで、学校等の利用が減少。 |

| | |
|-------------|---|
| | <p>(課題) 嘉穂ふるさと交流館、稲築文化ふれあい伝承館以外の4施設は、複合施設あるいは他課所管施設の一部利用であるため、行政改革において施設の見直しが進む中、それらの管理方法等が課題となっている。</p> |
| <p>総合評価</p> | <p>C 課題あり</p> <p>平日の管理人を置かないなど行革の求める経費節減は効果を挙げた一方で、本来、展示施設が求めるべき姿である見学者(利用者)を増やすという点に支障を来たしてしまった。周知の不十分さもあるが、通常展示施設は来館者を常に迎えるものとして機能するものであり、毎回、本庁(文化財係)に問い合わせをして来るべき所ではなく、ボランティア等の育成も考慮すべきである。</p> <p>各館・室がどれだけ利用されているか、また来訪者にどれだけ理解され、満足感を与えることができたか調査し検討すること。</p> |